

教科用図書調査研究調書

小学校

種 目		ページ	種 目		ページ
国 語	国語	1～3	音 楽		31～32
	書写	4～6	図 画 工 作		33～34
社 会	社会	7～9	家 庭		35～36
	地図	10～11	保 健		37～42
算 数		12～17	英 語		43～48
理 科		18～23	道 徳		49～54
生 活		24～30			

令和5年度下伊那採択地区協議会

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい国語）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 単元 1 領域を原則として指導項目を焦点化し、それに即した言語活動を設け、課題解決的な活動を通して、思考力、判断力、表現力等が身につくよう工夫されている。 ・ 単元冒頭の「言葉の力」で何を学ぶのかという見通しをもたせて、単元末の「ふり返る」で学習の過程に対する自己評価を促すことにより、児童自身が主体的に取り組めるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章の長さ、分量、難易の程度については、児童の発達段階に応じて適切な内容や単元数・教材数になるように配慮されている。 (2) 教科等横断的な指導、学校生活や家庭や地域との連携が図りやすい教材や、SDGsをはじめ現代的諸課題に関連の深い教材を多く取り上げており、学習への関心・意欲を高めていけるように工夫されている。 (3) 内容理解を助けたりイメージを広げたりするさし絵、図表、写真、デジタル資料を随所に示すなど、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。 (4) 本文には、文字の指導に適した教科書体やUD書体を使用したり、低学年では文節改行を施したりするなど、学年発達に応じた配慮がされている。 (5) 1年生で特殊音節の理解を助ける「多層指導モデルMIM」の指導法を取り入れたり、大切な情報が視覚的に捉えやすい図解、配色等で示されたりしており、特別支援教育の知見を生かした配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「読むこと」や「書くこと」などの領域ごとに学習内容を系統化し、全学年にわたり、螺旋的・反復的に「言葉の力」がつながっていることが視覚的にわかるように表で整理されている。また「情報のとびら」が「読むこと」と「書くこと」を効果的に結び付け、知識および技能を積極的に活用する構成となっている。 (2) 「見通す」「取り組む」「振り返る」という三段階の課題解決的な構成をしており、児童が学習の見通しをもち、単元で身に付けた力を振り返ることができるよう工夫されている。 (3) 「デジタルノートの使い方」や「エラーモデルの動画」など、実際の授業でのICTの具体的な使い方を想定してデジタル資料が用意されている。 (4) 単元末の「ふり返る」に「言葉の力」を箇条書きと図解で簡潔に示し、視覚的に理解しやすい工夫がされており、また「生かそう」で生活場面での活用できる内容を提示している。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの「言葉の力」として明確化してあり、領域ごとの系統が整理され、領域間の橋渡しとなる小単元を組み込んであり、一つ一つの単元のつながりが分かりやすく、6年間を通して系統的に配列する工夫がされている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「言葉の力」としての学びのつながりが意識された構成となっている。 ・ 特別支援教育の観点やユニバーサルデザインの観点を重視して構成されており、つまづきを想定してそれを克服できるような配慮がされている。 ・ 多様な学び手が想定される現代において、本書は適していると考ええる。

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>教育出版（ひろがる言葉 小学国語）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に学習の目標を示し、身に付けたい力を「ここが大事」でまとめるとともに、習得した学習内容を活用する教材を構成することで、知識及び技能が定着するよう工夫されている。 ・日常生活や学校生活に関連した題材や必要性を重視した教材を設定し、多様で活発な言語活動に取り組むことで、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に応じた文章の長さ、分量、難易の程度について配慮されている。 (2) 単元扉に示された「学習のめあて」と「ふり返ろう」、「ここが大事」までが一つのまとまった学びとしてつながっており、身に付ける力を児童自身が自覚しながら主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (3) 学年に応じて、学校生活や他教科との関連した教材の選定、図書館利用の方法の解説が設けられている。 (4) ユニバーサデザインに配慮したオリジナルフォントを使用し、文字の大きさを効果的に変えて用いるなど、学年発達に応じた視覚的な配慮がされている。 (5) 領域をテーマカラーで分け、活動の手順や留意点を示す配色を取り入れるとともに、児童の思考力・想像力を支える図表や写真が適切に配置されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 育成する言語能力に沿った単元構成が系統化され、全学年を通して、段階的な指導ができるよう配慮されている。 (2) 「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」で語彙力を高め、基本的な知識及び技能の定着ができるよう工夫されている。 (3) 学びの道筋が「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の4ステップで明示されており、見通しをもちながら主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 (4) 図表やメモ、対話モデルの吹き出し、デジタル教材等、手順や留意点を際立たせる視覚的な配慮がされている。 (5) 単元ごと「ふり返ろう」が位置づけられ、指導事項と言語活動の二つの観点でふり返りができるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが構造的に示されているとともに、考えを形成し、共有する活動がどの学年にも位置付けられている。 ・全学年の教科書を分冊することで、内容や付録、図書情報等を充実させるとともに、軽量化して、児童が使いやすく学習に取り組みやすいよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元扉のめあてや「学習のてびき」において、児童自ら課題を見つけ、それを解決する学びの道筋を4ステップに分け、見通しをもちながら主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ・学習活動を支える考え方や、子どもの反応例や図解資料が示されており、学習者の視点にたった視覚的な配慮がされている。

発行者名 採択基準	光村図書（国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を通して身に付けたい力を「たいせつ」、他教科や普段の生活で生かす力を「いかそう」としてまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。 ・ 各単元の冒頭に「問いをもとう」が示され、作品・文章や話題・題材に関わって、児童一人一人が当該単元の学習で追究したい自らの「問い」をもつことにより、目標を明確化し、自分のものとして見通しをもって主体的に学習を進められるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文章の長さ、分量、難易の程度が、児童の発達段階に応じて無理なく学習が進められるよう配慮されている。 (2) 身近な生活に関連したり、教科等横断的に資質・能力を伸ばしたりできるような話題・教材を選定し、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている。 (3) 各単元「見通しをもとう」を設定し、学習の道筋を示すことで、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。 (4) 低学年では通常より太い文字にしたり、文字が小さい箇所などには、UD書体を使用したりし、学年の発達に応じた配慮がされている。 (5) 絵や写真と文章を対応させながら読む教材や、内容を解説するための写真や図等を必要な箇所に付すことでイメージを豊かに広げて読み取ったり、読み取ったことをもとに話し合ったりする学習が行えるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列の系統化がなされており、全学年にわたり段階的な指導ができるよう工夫されている。 (2) 「国語の学びを見わたそう」に、前学年の既習事項のポイントが示されており、当該学年とのつながりや領域内の関連を確かめられるよう工夫されている。 (3) 「問いをもとう・目標」「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の単元構成になっており、児童が見通しをもちながら「基礎的・基本的な知識及び技能」を習得していけるようになっている。 (4) 単元の終末「ひろげよう」により、言葉による見方・考え方を働かせながら思考、判断、表現の力を高めるための言語活動に取り組めるよう配慮されている。 (5) 「知る」「読む」「つなぐ」など三つの観点に則した「ふりかえろう」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう、工夫されている。 (6) 児童のイメージを豊かに広げる挿絵や写真、QRコードなどのデジタル教材を適所に掲載することで、学習内容の理解を助ける配慮がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的・対話的で深い学びが実現できるような、学びの道筋がみえる工夫がされている。 ・ 「情報」の分野の教材が要所に設けられており、情報どうしの関係をとらえて理解したり、情報をわかりやすく整理して活用したりする力を身につけられるよう配慮されている。 ・ 「言葉のたから箱」が巻末に示されており、「話す・聞く」「書く」活動において有効に利用できるように配慮されている。
5 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「問いをもとう」を単元の初めに設定したり、自分の願いを書き込めるスペースを設けたりして、児童が自らの問いや願いをもって主体的に学びに向かえるよう配慮されている。 ・ 資料動画や写真、実写動画、「書くこと」の作例全文、音声等、学習の参考になるデジタルコンテンツを豊富にそろえており、それらを効果的に活用しながら個別最適な学びや協働的な学びを進めることができるよう工夫されている。 ・ 以上の理由から、国語の教科用図書として最も適していると考えます。

発行者名	東京書籍（新編 新しい書写）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年に「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の展開例が示されているとともに、各単元の学習のねらいや身に付ける知識及び技能の習得に向けた道筋が明示されており、児童が課題解決を意識しながら、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・整った文字を書くための知識及び技能が示されており、文字に関する伝統や文化に関わる教養についても幅広く扱う工夫がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に合わせて、簡明な字形・書き方・筆使いの説明の仕方等を工夫し、系統的・段階的に配置されている。 (2) 単元の導入に、「見つけよう」として、「くらべよう」「さがそう」という観点で示された教材や、それをもとにして取り組む対話を促すようなアイコンが示されており、児童が課題をもって取り組むための工夫がされている。 (3) 各単元で学んだことを学習事項のポイントとして「書写のかぎ」にまとめ、系統的に配置し、各学年に応じた説明を加えている。また、それらを一覧表に示して、学習者が学びのつながりを確認できるよう配慮されている。 (4) ユニバーサルデザインを意識して、独自の教科書体や左きき児童も見やすい教科書紙面の構成などを用いながら、すべての児童が見やすいフォント・色使いなどを工夫している。 (5) 書写で学んだことを日常生活や他教科の学習に生かせるように、普段の手書き文字から課題を見つけて解決を目指したり、横書きの単元を設けたりして、書くことへの興味・関心を高める配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元で指導する事項にふさわしい文字や語彙を選びながら、系統的に単元が配列されるよう工夫されている。 (2) 日常生活に結び付けた課題を示したり、書写の学習を日常生活に生かすために、観察日記や絵日記など他教科と関連させた言語活動を取り上げたりして、児童の主体的な学びにつなげる配慮がされている。 (3) それぞれの学年にふさわしいデザインを用いており、課題解決のポイントとなる知識及び技能の説明について、さし絵や図、音で筆の使い方を示すなど工夫されている。 (4) 各単元の学習要素を「書写のかぎ」として系統的に分類・整理し、単元ごとの課題を解決する手段として端的に示すことで、まとめや評価の観点が明確になるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に書いている手書き文字（硬筆）から課題を発見し、硬筆・毛筆の基本的な知識及び技能から課題を解決する方法を見出し、その成果を硬筆に生かす学習過程を、一目で見ることができる紙面構成にまとめて、分かりやすく示す工夫がされている。 ・インデックスとして書写の学習要素を示すことで、常に系統性を意識して指導することができるよう工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で書いている文字から課題を見出し、書写の学習要素を「書写のかぎ」として系統的に示すことで、児童が自ら課題を解決するための見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がされている。 ・書写で学んだことを日常生活や他教科の学習で生かすことができるように、具体的な例を示して学習内容を広げられる工夫がされている。 ・以上の理由から、書写の教科用図書として適していると考えられる。

発行者名	教育出版（小学 書写）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材となる文字や語句および文章が、身近な文学教材や伝統的言語文化の教材から設定されており、日常生活や他の学習の中で身につけた知識・技能が生かされるよう工夫されている。 ・ 1年間の学習内容を可視化した目次や、1時間の学習の進め方が4段階で示されており、見直しをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年の発達段階や学習時期に応じて平仮名、片仮名、漢字が混在しており、系統的・段階的に学べるよう配慮されている。 (2) 全学年で「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 (3) 「考えよう」の欄に、「どちらがうかな。」「どうなっているかな。」などの問いかけがあり、「考えて書くこと」でより確かな書写力が身につけられるよう配慮されている。 (4) 教材ごとに「ためし書き」と「まとめ書き」の欄があり、それらを比べることで、児童が自らの課題や成長に気づくことができるよう配慮されている。 (5) ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童用の資料の提示やフォント・色使い等への配慮がされていることで、すべての児童にとっての学びやすさにつながる工夫をしている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年に応じて、書きやすい点画や文字の大きさなど、平易なものから発展的に学習できるよう配列が工夫されている。 (2) 全学年、書いて伝え合う学習を取り入れ、書写の言葉を使った対話場面や具体的な言語活動を例示することで、対話的な学びが充実するよう配慮されている。 (3) 「レッツ・トライ」で、他教科や日常生活と関わる書く活動が紹介されており、児童が身につけた書写の力が生きてはたらくよう配慮されている。 (4) 写真や図版が多く活用されており、筆使いがよく分かるよう、書いているときの筆の状態や穂先の位置などが大きく示されていて、運筆の指導に生かせるよう工夫されている。 (5) 単元ごと、ページ左下に「ふり返ろう」が配置され、児童が自己評価を書き込むことで、単元で身につける技能を明確にして自らの学びを自覚できるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆教材は、穂先の通り道を朱墨で大きく示すなど、写真や図版を多く活用し、詳しい説明を加えることで、身に付ける知識及び技能が明確になるよう配慮されている。 ・ 練習用紙を選択したり、作ったりすることが示されるなど、課題解決のために必要な方法を児童が考えられるよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試し書きから日常化までの学習プロセスや、児童の思考の流れにそった学習展開が明確化されており、児童自らが主体的に学習に取り組み、課題解決を図ることができるよう配慮されている。

発行者名	光村図書（書写）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいが焦点化されており、簡潔で明確に表現されている。 ・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるような工夫や、身に付いた力を日常生活や他教科で生かせるような工夫がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 身に付ける力を教材名にすることで学習のねらいが明確になっており、その力が段階的に身に付くように「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で学習内容が分かりやすく展開されている。 (2) 児童の身近にある文字・筆記具に着目させ、文字に対する興味・関心を高め、既習事項を他教科や日常の言語活動に生かせるよう配慮されている。 (3) 「書写体操」と「整理体操」で、全教科の基礎である姿勢・筆記具の持ち方が定着するように工夫されている。 (4) QRコードによるデジタル教材が豊富で、デジタル教材を活用し、児童が主体的に自身の課題解決に向けて学習できるように工夫されている。 (5) ユニバーサルデザインの観点から、フォント・色使いに配慮するとともに、左利き児童用の教科書紙面や動画が必要だと考える場所に、QRコードが用意されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、 他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じて習得と活用を繰り返しながら書写の基本的な力が培えるように、単元の配列が工夫されている。 (2) 文字の構成や点画の書き方などにねらいを焦点化した教材が、系統的・段階的に配置されている。 (3) 毛筆の学習の中にも硬筆欄が設けられ、日常生活に生かしたり、国語の教科書と連動した教材を一体的に扱ったりして、日々の学習活動に主体性が生まれるよう工夫されている。 (4) QRコードによるデジタル教材では、ただ書き方を見せる映像ではなく、「ねらい」を達成するためにポイントとなる部分を繰り返し伝え、児童が「ねらい」を意識しやすい映像となっている。 (5) 各単元に「ねらい」と「たいせつ」が明記されており、さらに巻末には「たいせつのまとめ」を設け、各学年で学ぶ要点を振り返ることができるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ねらい」や「ねらい」の達成に向けての学習展開が明確で、基礎・基本の習得とその活用が柱となり、そのサイクルを繰り返しながら学習を進められるよう配慮されている。さらに、書写で身に付けた学習が日々の学習、生活に生かせるように工夫されている。 ・デジタル教材が豊富で、毛筆の書き方を明示する動画だけでなく、身の回りの文字文化を紹介する写真や資料、硬筆への活用を促す動画等も大変充実しており、文字への興味・関心を高め、児童が主体的に取り組むことができるよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいが明確で、その力が段階的に身に付くように「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で学習内容が分かりやすく展開されており、児童自ら課題解決に向けた学習ができるように工夫されている。 ・豊富なデジタル教材を活用することで、身の周りの文字文化にも目を向け、日々の書写活動に活かせるような構成となっている。 ・以上の理由から、書写の教科用図書として最も適していると考えられる。

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい社会）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な追究ができるように、複数の社会的な見方・考え方をういた学習展開や資料提示の工夫がなされている。 ・取り上げた内容に関わる人やもの、事象が豊富に提示されており、人々の思いや願いにふれながら学習できるよう配慮されている。 ・単元のまとめで、学んだことを伝えたり、自分自身の生活に具体的に生かしたりする活動が盛り込まれており、主体的に社会と関わる契機が作られている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 課題をつかんだり、比較したりするための写真資料やイラストが豊富に提示されており、児童の関心・意欲の喚起につながっている。 (2) 紙面上の資料が適切な大きさかつ、複数の資料を比較・関連付けて学習しやすいよう配置され、二次元コード等もどのページでも同じ位置・配色で配置されており、児童が使いやすいように配慮されている。 (3) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の四つの学習段階が明示され、特に「いかす」の場面では発展的な学習や社会参画の例が提示され、学びの深まりにつながるように工夫されている。 (4) 「調べる」の学習段階では、「学びのポイント」の欄で調査活動の具体例が提示されていたり、見学メモや体験活動の振り返りが例示されたりしており、社会的事象に対する見方・考え方を生かすための配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 自動車工業では、「愛知県豊田市」を取り上げており、下伊那地域にとって身近な地域が取り上げられているので、理解しやすい。 (2) 長野県内の歴史遺産や特色ある地域のくらしが取り上げられているページがあり、児童が親しみをもちやすい工夫がされている。 (3) 各ページで盛り込まれた内容や配置に無駄がなく、見開きのページで文章や地図、写真などの資料など必要な情報がコンパクトに掲載されている。 (4) 「まとめる」「いかす」の学習場面では、それまでの「調べる」学習場面で扱われた内容が再度取り上げられ、それらに関連させたり結びつけたりすることで多角的に考えられるように工夫されていたり、その観点に沿うような具体的なまとめ方が例示されていることで、満足できる評価の観点が見えるようになっていたりしている。 (5) 伝統文化の継承の場面における後継者不足、多文化共生によるまちづくりなど、現代の社会的な課題に対する児童の関心を喚起する話題が盛り込まれている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会的事象から学習が始まり、身近な事例や課題から主体的な社会参画につながっていく学習展開は、児童の関心に沿い、授業者にとっても自然な学びの流れがつかれるように構成されている。 ・学習問題に対する複数のアプローチや立場が示されており、多様な児童の興味関心が生かされ、個別最適化された追究が可能な構成になっている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の地名等を明記しながら具体的な素材を取り上げており、長野県の素材も充実していることから、児童たちにとって社会的事象が身近に感じることが出来るよう工夫されている。 ・二次元コードを活用したり、レイアウトを工夫したりすることで、情報量を確保しつつも全体的な紙面上のボリュームを押さえ、歴史的分野と公民的分野を2冊に分けることで児童の負担軽減への配慮がされている。

	教育出版（小学社会）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げた内容に関わる人の言葉が多く掲載されており、人々の思いや願いから学習できるよう配慮されている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」という学習の展開がどの単元にも位置づけられており、問題解決的な学習ができる工夫がなされている。 ・「学びのてびき」、「調べること」、「調べ方」、「次につなげよう」といった内容があり、主体的な学習ができるように配慮がされている。 ・単元の終末に「学んだことをどう生かすか」について考え、主体的な社会参画を促す学習が取り入れられている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 課題をつかむための写真などの資料が大きく、読み取れる情報を多くして児童の興味関心が喚起されるようにしている。 (2) 6年の歴史学習のページにはAIの技術と史料をもとにカラー化した画像が掲載され児童にとって興味ももちやすい配慮がなされている。 (3) 地図などの資料を見て気づいたことなどをふせんに児童が書いた言葉という形で提示され、児童の発達段階に応じた言語表現の工夫がなされている。 (4) 「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「つなげる」のページに分かれており、今学習しているページが、どの部分を学ぶページなのかがわかりやすい。 (5) 情報端末を用いた学習活動の具体例が示されていることで、児童がICTを有効に使った学習のまとめができるように工夫されている。 (6) 「調べる」の学習段階では、実際に小学生が調査・見学をしている様子の写真が多く提示され、社会的事象への多様なアプローチの仕方がイメージできる工夫がある。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1時間の授業を想定して、各見開きのページに活動の流れが毎回提示され、児童が見通しを持ちやすい工夫がなされている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の問題解決的な学習の流れを巻頭にモデル図で解説し、さらに該当ページがどの段階にあたっているのか視覚的に分かるようになっている。 (3) 「場所や広がり」「工夫やかかわり」「関連づける」など、社会的な見方・考え方を働かせるヒントとなる言葉をキャラクターが吹き出しの中で語ることで社会科としての視点や学び方の方法を捉えやすくなっている。 (4) 単元の導入で立てられた「みんなでつくった学習問題」が、「まとめる」のページで再び記載されていることにより、追究のまとめの場面で単元を貫く学習問題に立ち返って振り返られる配慮がなされている。 (5) 6年「日本の歴史」において上久堅村から満蒙開拓に渡った人の証言を大きく提示し、身近な地域の人の思いに着目して社会的事象を捉える工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の4人の小学生が学びを進めていく流れを迫体験していく形に近く、単元の学習の流れがわかりやすく構成されている。 ・一つ一つの提示資料、イラストが大きく、「資料から何を読み取り、どう生かすか」といったことについて学べるので、主体的な学習につながりやすい。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が社会的事象から教科書によって問題を見だし、解決に向けて意欲的に追究し、調査活動や資料を通して具体的に学びながら、公民的資質の基礎を養えるように工夫されている。

日本文教出版（小学社会）	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に見開きで1時間の授業が構成されており、その中で課題把握、調査・追究、まとめといった問題解決的な学習ができるようになっている。 ・ 単元のまとまりで見たときの各時間の「つけたい力」が明示されており、教科の目標に照らし合わせた学習の展開を意識的に行える工夫がある。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1時間の学習の最初が、登場人物の疑問から始まる構成になっており、児童の問いから学習が始まる工夫がなされている。 (2) キャラクターがしゃべっている疑問や気づきから問いが生まれるように工夫されていて、親しみやすく単元の学習が深まっていくように配慮されている。 (3) 提示されている資料が多様で見やすくなっていて、さらに読み取れる情報の種類を多くして児童の興味関心が喚起されるようにしている。 (4) 時間・空間・関係という視点から、調べたり考えたりするためのヒントを提示し、児童の考えを広げる工夫がなされている。 (5) 手書き風の地図のあるページがあり、地図でまとめる際にイメージしやすい工夫がある。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1つの事柄に対して複数の観点からの写真が配置されているページが多く、多面的な見方につなげられる。 (2) QR コンテンツが豊富に用意されており、画像や動画だけでなくアプリケーションのように楽しみながら学びを深めることができるようになっている。 (3) 単元の終わりに、登場人物が発表し、それに対して質問をしながら学びを深めていく場面があり、対話的に学べる工夫がなされている。 (4) SDG sに関連した内容が多く提示され、自分たちには何ができるかを考える問いが提示され、主体的に社会にかかわろうとする姿勢につなげていく工夫がなされている。 (5) 「学び方・調べ方コーナー」では観察や調査、資料の読み取り、表現活動などについて児童の発達段階に合わせて具体的な方法が示されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容と関連させたSDG sの取り組みが随所に取り上げられている。現代や未来の向けての課題に目を向けられる構成になっている。 ・ 難しい言葉を図や資料を使ってわかりやすく説明し、知識の習得も大切にできるよう配慮されている。 ・ 二次元コードや「学び方・調べ方コーナー」など、児童が主体的かつ意欲的に学習を進めるための配慮がされている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代や未来に目を向けた構成が特徴的で様々な取り組みが紹介されている。また、児童が興味・関心をもてるような資料を例示し、学習が深まったり広まったりしていくための問題提示やコーナーが設けられ、主体的な学びが可能になるように配慮されている。

発行者名	東京書籍（新編新しい地図帳）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的な理解や社会生活への理解を深める学習を進められるように配慮されている。 ・広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置し、日本の位置および範囲、領土に関する問題や自然災害などについて正確な理解が図れるようになっている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 日本の標準的な地方区分では原則として統一した縮尺を配し、適宜拡大図を設け各地域の地理的理解を深めるとともに、位置関係を調べたり、地域相互の結びつきや比較ができたりするように工夫されている。</p> <p>(2) 地形図では陰影を抑え、地名や地図記号、産物や史跡などのイラストが見やすくなるように工夫され、親しみやすく学習できるように配慮されている。</p> <p>(3) 地図中の文字や記号は大きく、字体も丸ゴシック系の親しみやすいフォントが採用されている。特に地名の表記では白い縁取りがされており見やすくなっていたり、フリガナがふられていたりしている。</p> <p>(4) 二次元コードからアクセスできるQRコンテンツを多数収載し、白地図や地形が分かるドローン動画、クイズなどの多様なコンテンツを手軽に活用できるようになっており、地図学習への関心・意欲が高まるような構成になっている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 日本の気候に関するページでは、夏の気温と降水量、冬の気温と降水量が同じページに掲載されていて、それぞれの地図を見ながら日本の気候の特徴を考察することができるようになっている。</p> <p>(2) 主な歴史の舞台となった場所が青い枠で囲まれていて見やすくなっていたり、世界遺産やラムサール条約、世界ジオパークの登録地などについて個別の記号を設けたりすることで注目しやすくなっている。</p> <p>(3) 外国語の授業でも活用できるように、世界地図の国名や大陸と海洋の名前に英語表記を併記している。</p> <p>(4) 日本の自然災害について、日本列島全体の災害地図を配し、地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策について考察できるようになっている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの利用をふまえ、地図の仕組みと約束事を分かりやすく解説した地図学習のページが新設されるなど発達段階にあわせて、地図帳としての資料性を確保しながら適切な情報量となるように内容が精選されている。 ・地図の色づかいなどの表現を見直し、地名は縁取りするなど読みやすさを向上させ、親しみながら地図帳を活用できるように工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陰影を抑えた色彩や縁取りされた地名などの地図表現により、見やすく分かりやすい地図帳になっている。 ・自然災害や郷土料理、オリンピックなどを特集したコーナーが設けられていることにより、理科や家庭科、体育などの補助資料として活用できるようになっている。 ・3年生からの使用をふまえた新設のページがあったり、中学校の地図帳との接続を見据えた発展的な内容を扱ったページも設けられている。

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>帝国書院（楽しく学ぶ小学生の地図帳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に応じた親しみやすいイラストや会話形式を取り入れた導入がなされており、初めて地図帳を手にする3年生でも扱いやすい構成になっている。 ・地形図や地球儀の読図技能が段階に応じて身に付けられるように工夫され、国土や世界の地理的理解ができるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 都道府県全体を見る地図と主要都市周辺を見る地図の縮尺がそれぞれ統一されており、地域同士を比較しやすくなっている。さらに、三大都市圏については20万分の1等のさらに大きな地図が設けられており、土地利用について詳しく調べることができる。</p> <p>(2) それぞれの地形図が全体的に鮮やかな色調でまとめられており、地形の様子が分かりやすいように工夫され、親しみやすく学習できるように配慮されている。</p> <p>(3) 地図中の地名等にはユニバーサルデザインフォントが採用されており、さらに文字の視認性を高めるため白色の縁取りがされている。旧市町村名も表記されており、飯田市では「上村」「南信濃」が表記されている。</p> <p>(4) デジタル端末に対応した600を超えるQRコンテンツが用意されており、学習の用途に合わせた地図や動画、統計資料に容易にアクセスすることが可能になっている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 日本の領域に関するページでは、日本の領土、領海や排他的経済水域を視覚的に捉えられるようになっている上、日本固有の領土として隣国と領土問題を抱えている島々の場所と様子も分かるようになっている。</p> <p>(2) 6年生の歴史学習でも活用できるように、歴史のテーマ地図や世界遺産のページが設けられている。また、地図中にも歴史地名や歴史的事項が豊富に掲載されている。</p> <p>(3) アメリカ合衆国が掲載された地図では、州名に英語表記が付記されていたり、アメリカの歴史や文化に関するイラストも豊富に掲載されていたりして、外国語の学習でも活用できるようになっている。</p> <p>(4) 持続可能な社会の実現に向け、SDGsに関する資料や、自然災害と防災についての主題図が用意されており、現代社会の課題に対する意識が高められるようになっている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・索引を除いたページ数で、全114ページからなり豊富な地形図や資料によって構成されている。特に大まかに日本列島を見渡す地図に10ページを費やしており、3学年からの利用を考慮されたつくりになっている。 ・土地の高さによる色分けと土地利用による色分けがなされた地図表現により、地形や土地利用の様子が分かりやすく、地図や資料の活用能力を高められるように配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に明るく鮮やかな色調が用いられた立体感のある地図表現によって、地形や土地利用の様子を捉えられやすくなっている。 ・豊富なページ数によってさまざまな資料図が配置されており、地理学習だけでなく歴史や外国語など幅広い学習に用いることができるように工夫されている。 ・発達段階に応じた学習に対応できるように配慮され、学年に応じた活用ができるように工夫されている。

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方・考え方を可視化しながら数学的知識を獲得し、さらに単なる知識の定着だけにとどまらず日常生活の中に生かせるよう大変工夫されている。 ・児童にとって実感をもちながらわかりやすくつながるように学習内容を配置し、児童目線での学びの連続性を大切に展開になるよう大変工夫されている。 ・既習内容と本単元が統合的・発展的に扱えるよう、数学的な見方・考え方と合わせて言語化したり、図化したりしながら、児童の言葉で学習内容を生活場面に位置付け、新たな学びに向かえるよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1)問題の求め方を「今日の深い学び」のコーナーで数学的な見方・考え方を生かして振り返り、別角度で解きなおして他の解法に至る手順を再考する（6年p161 比例）など、多様な学びができるよう大変工夫されている。 (2)5年下p55で既習の平行四辺形、三角形の求積を振り返り、他の図形の求積について「それなら次は？」という児童の言葉で導くなど、主体的な数学的活動となるよう大変工夫されている。 (3)現実にある2数の変化の例として、時計の時刻やひもを切る場面を取り上げて数学的活動を設定する等、実感を伴いながら学べるよう工夫されている。 (4)練習問題がデジタル化されており、そのすべての正誤の判定を瞬時にを行い、さらに正誤の結果の記録を個人ごと集積するなど、評価と努力の軌跡が可視化され、個別最適な繰り返し学習ができるよう大変工夫されている。 (5)児童の必要感に寄り添った思考ツールとしての図が提示されており、児童が思いついた図を使用して自分の考えを説明しやすいように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)各学年において、計算単元をスモールステップで2段階に分け、適切な期間を空けて配置することで、児童がより深く理解しながら基本計算を学び、計算技能の定着が図れるよう単元配列が大変工夫されている。 (2)児童が既習内容を使えるように平行四辺形の学習場面で関連する長方形を図示するなど、児童が考えやすいような関連化が図られるよう工夫されている。 (3)3学年以上で各単元の後半に設けられた「それなら次は」では、新たな課題を見だして解決の計画を立てる中で、対話で学びがつながるよう工夫されている。 (4)5年上p79、80の合同な図形では、あえて合同条件とは異なる条件による作図を示すことで合同条件の正しさを反証的に見つけなおすなど、学習内容を発展的に深く理解ができるよう大変工夫されている。 (5)5年下「単位量あたりの大きさ」では、複数の単位量を示してから密度の考えを示して比較するなど、児童の思考過程に寄り添いながら正確な用語の理解につなげられるよう工夫されている。 (6)6年p168反比例のまとめなどのように、学習内容のまとめに「ふりかえりメモ」をつけ、関連する既習内容と対比して理解できるよう大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が数学的な見方・考え方を働かせて得た発見や気づきと、前時の学びに、「同じように考えると」という言葉でつながりを持たせ、学びの連続性を意識させるなど、児童目線での学びのつながりが生まれるよう大変工夫されている。 ・児童が、作図や角度の問題のように、試行錯誤したり自らの考えを伝えあったりしたい場面では、単なる理解支援にとどまらず問題解決にもICTを活用するなど個別最適に学べるよう大変工夫されている。
5 総合所見	児童の学びに寄り添った構成で、理解しやすい身近な事象を導入で取り上げながら興味関心を強く引き、日常生活から数学的活動に入っていくなど、児童の目線で学んだことがまとめや発展問題につながっていくよう大変工夫されている。また、児童が協働的に学びながら探究することができ、対話によってさらに別の視点を持ち、新たな問題を見いだすことができるよう大変工夫されている。

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・練習問題や様々な種類のデジタルコンテンツを設けることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫がされている。 ・問題提示の工夫や数学的な見方・考え方を働かせる場の設定など、児童の思考力・判断力・表現力等の育成を図る工夫がされている。 ・「なるほど算数教室」や「算数たまたまばこ」などのコーナーを設け、算数が日常生活の中に生かされていることを実感しながら主体的に学習に取り組めるよう、児童の興味・関心を高める工夫がされている。（3年 p175）
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1)問題を右ページ、解決方法を次ページに配置する構成を随所に取り入れるとともに、「わかっていること、もとめることをはっきりさせよう。」「これまでのものどいところがうところを見つけよう。」など、考える焦点を明確化することで、児童の考えや処理の仕方を生み出せるように大変工夫されている。（2年 p25） (2)各単元の導入コーナーでは、児童自らが問題や疑問を見だし、主体的に取り組めるような工夫をしている。 (3)「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、日常生活に生かされる算数への興味・感心を高めたり、算数が日常生活の中で役立っていることを実感したりできるように工夫されている。 (4)2学年以上は学年一冊の合本にしたり、前学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを設けたりすることで、振り返りや学び直しができるように工夫されている。 (5)児童の発達段階を考慮し、適切な大きさの文字にするよう配慮されている。また、イラスト内の要素を絞ったり、単元内でのイラストタッチを統一したりすることで、児童の注意が散漫にならないように工夫している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1)2学年以上は学年一冊の合本とすることで、年間の学習の流れを見通した計画や単元配列の入れ替えができるよう工夫されている。また、1学年では別冊を用いて初期の学習に特化した指導をすることができるよう工夫されている。 (2)振り返りが特に有効なところにリンクマークを付けたり、ページの右上にインデックスを付けたり、「さくいん」を設けたりし(2学年以上)、学び直しができるように工夫されている。 (3)巻頭の「算数の学び方」で、前学年の学習を例にししながら、問題をつかみ、そこから自分で考え、学びあい、まとめて、問題をつかむという一連の循環した流れを例示することで、各単元の学習に生かすことができるように大変工夫されている。 (4)各単元末に「しっかりチェック」を設けたり、適宜問題番号に水色の印をつけたりすることで、習熟度別指導などで柔軟に取り扱うことができるように大変工夫されている。（5年 p92 など） (5)「等しい」という抽象的な用語について、具体的なイメージが持てるような記述とイラストが記載され、理解が促されるような工夫がされている。（3年 p142、ほか5年 p116、p136） (6)本時のまとめを「発見！考え方」や「発見！」として、考え方に焦点をあてられるように工夫されている。また、2学年以上の全時間に、学習のめあてが設定され、そのめあてを「発見！考え方」や「発見」と対応させていたり、各単元末に「単元全体をふりかえろう」を設置し振り返りを書かせたりすることで、評価の資料とすることができるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が問題解決の流れに重点を置いて数学的な見方・考え方を働かせながら学び、思考力・判断力・表現力等を育成できるように工夫されている。 ・児童が自ら問いをもち、明確な見通しを持って主体的に問題解決ができるように、問題や大事な要点の配置等が工夫されている。
5 総合所見	<p>単元の導入では、「新しい学習がはじまるよ」が用意され、自ら見通しと課題を持って問題解決が踏み出せるように工夫されている。また、学年間の系統性や、他領域、他教科、日常生活とのつながりを意識しながら学習を進められるように工夫されている。</p>

発行者名 採択基準	学校図書(みんなと学ぶ 小学校算数)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・数、量、図形について基礎的・基本的内容に重点をおいて構成し、概念や原理の習得ができるように工夫されている。 ・実際の授業に沿った、問題解決的な展開にし、論理的思考力や直感力の育成が図れるように工夫されている。 ・生活場面から素材を求め、学習した知識や技能を生かして問題解決が進められるように工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	(1)「図や表を使って問題を考えよう」を設けることで、問題解決にあたって、図や表などを活用して多様な考え方で解いていけるように工夫がされている。(4年上p108など) (2)単元の導入では「?を発見」で場面イラストを用いて、これからの学習内容についての興味喚起を行い、単位時間終わりの「つながりの?」によって新たな疑問が生まれるように工夫がされている。(3年上p12、p14など) (3)児童の中から自然に発生するような「めあて」を設定し、「知りたいな」「調べたいな」のガイドを示すことで児童の主体性を促せるように工夫がされている。 (4)2学年以上の巻末「ほじゅう問題」では、解答と関連ページを載せ、主体的な学習態度が育成できるように工夫がされている。(3年上p128など) (5)文字はUDフォントを使い、カラーバリエーションがされていることでより見やすく、さらにAB判により教科書上での作業が広く使えるように大変工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)「倍」の概念を学習する内容を、通常の単元とは別に設定し、整数、小数、分数のかけ算やわり算の学習後に重点的に学習できるように大変工夫されている。(3年上p54、4年上p105など) (2)演算決定で有効な手立てとなる図の指導が発達段階に応じて系統的に扱われており、高学年からは4マス関係表の導入により、効果的に演算決定ができるように大変工夫されている。(2年上p82、3年下p8、5年上p99など) (3)「ふりかえろう つなげよう」を設けることで、これまでの学習内容を統合的に考察して、発展的のものごとを捉えようとするための工夫がなされている。(5年上p74、6年p156) (4)巻末「ほじゅう問題」や「ふかめよう」で個々の習熟にあわせて総合的・発展的に考えられるように工夫がされている。(2年上p151-161など) (5)道具を使って作図する場面では、連続写真を用いることで具体的な操作方法をイメージしやすくなるように工夫がされている。(2年上p72、3年上p106) (6)重要事項は、教師が指導することを「博士マーク」、児童が活動を通して発見・獲得することを「まとめ」として、表記の仕方がわかりやすく工夫されている。各学年末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら課題に働きかけ自立解決しようとする姿を育てられるように、全単元において、場面イラストから導入するなどの工夫がされている。 ・児童が学習した内容を活用したり、整理して深めたりすることができるように工夫がされている。
5 総合所見	生活場面から問題を見だし、学習した知識及び技能を生かし、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決が進められるように工夫がされている。また、数学的活動を通して、基礎的・基本的な学習内容を身につけるとともに、概念や原理の習得ができるように工夫されている。

発行者名 採択基準	教育出版（小学算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく学ぶことと既習事項を結びつけ、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ・数学的な見方・考え方を働かせ、論理的に考察する力や、問題に気づき算数を使って解決しようとする力を育てられるように工夫されている。 ・学習したことの本質に目を向け、新たな問題を見いだす力を伸ばすため、学年に応じた数学的活動を取り入れるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 毎時の「たしかめ」問題から巻末の「ステップアップ算数」にリンクし、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」に分けることで、発達段階に適した反復練習が行えるように工夫されている。 (2) 5年 p73～p75 の三角形の内角和の場面のように、「はてな？」で学習のめあてをつくり、主体的・対話的な学びを通して「学びを深める問い??」を焦点化し、「なるほど！」でまとめ、「だったら!？」でさらなる学びの広がりを目指すよう、内容構成が大変工夫されている。 (3) 単元導入時の「どんな学習がはじまるかな」では、身近な生活の場面から数学的事象を発見し、算数の問題として取り上げることで興味・関心を持って数学的活動に取り組めるように工夫されている。 (4) 不明な事項があるときや既習事項を振り返りたいとき、巻末の「学びのマップ」を参照することで、学び直しをして基礎・基本が定着するよう工夫されている。 (5) 2年上 p20 のように、図や式を用いて話し合う場面を随所に設ける等、表現を交互に関連づけながら学べるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 系統性や個々の習熟の程度などを考慮し、既習事項を活用したり統合したりして学習内容や数学の見方・考え方を関連づけて指導できるよう工夫されている。 (2) 2学年の分割分数の学習をもとに3学年で量分数を導入し、量分数の見方・考え方を生かして小数を導入するなど、既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や見方・考え方を関連づけて学べるよう配列が工夫されている。 (3) 数学的な見方・考え方に着目させ、統合的・発展的に考察できるよう「つながるミカタ」や「つながるミカタプラス」を配置する等大変工夫されている。 (4) 学年をこえて既習事項を振り返る「学びマップ」や発展的な学習内容を掲載した「算数ワールド」を配置し、個に応じた指導に生かせるよう工夫されている。 (5) 作業的・体験的な場面で写真を用いて動機付けをしたり、作図の仕方でも連続写真を用いて手順をわかりやすくしたりするなど工夫されている。 (6) 授業のまとめでは、知識や技能だけでなく、見方・考え方もふり返り、「なるほど！」の吹き出しを用いてまとめるとともに、「だったら!？」の吹き出しで問題を広げ、新たな問いを見いだして次時につながるよう大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学び方及び数学の見方・考え方を確認できるように、「算数で使いたい見方・考え方」「算数が好きになるはじめの一步」を配置するなど大変工夫されている。 ・児童が、様々な視点から興味・関心を高め、算数を学ぶ楽しさを実感できるように、日常生活の中で活用される算数の知識を「算数広場」「算数ワールド」で紹介するなど工夫されている。
5 総合所見	主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育てるため、児童の問いの連続で学習を進められるように構成され、「問い続ける力」が育まれるよう工夫されている。また、個性や多様性を生かした言語活動等により、数学的な見方・考え方を伸ばしながら、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、学びと学びが繋がったときの感動が味わえるよう工夫されている。

発行者名 採択基準	啓林館 (わくわく 算数)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方・考え方を働かせながら基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるとともに、算数を生活や学習に生かせるように大変工夫されている。 ・ 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察したり、統合的・発展的に考察したりする力が育成できるように、場面設定が大変工夫されている。 ・ 学んだことから新たな問題を発見する楽しさや学んだことをいかして別の問題も解決できる算数・数学のよさを感じることができるよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 問題に応じていくつかの考えのヒントが吹き出しで示されたり、図や表を使って表されたりしており、多様な考え方を生み出せるように工夫されている。 (2) 既習事項との繋がりに気づかせるための「めばえ」が例示されており、それをもとに「めあて」が設定される構成となっている。自ら問題を見だし、構想を立て実践し、評価改善できる数学的活動となるよう大変工夫されている。 (3) 日常生活とのつながりを大切に学習場面が多く配置され、自ら問題を見つけて見通しをもって解決に向かうことができるよう到大変工夫されている。 (4) 5年p73とp179の「算数ポケット」など、大切な学習内容が繰り返し学べるよう到大変工夫されている。また、練習問題の下部には、巻末の「もっと練習」へ導く表示があり、より多くの問題に挑戦できるように大変工夫されている。 (5) 割合の学習に関係図を3学年から一貫して提示する等、児童の思考の拠り所となるよう、テープ図、数直線図、線分図等の配置が、大変工夫されている。また、6年p264のように数量関係を図に表す手順も示されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「面積」の学習(5年p135)では、直角に着目して底辺と高さを見つけることを重視し、直角三角形、一般の三角形、平行四辺形へと展開しているとともに、平面図形では三角形を基本図形と捉えると問題が解決できるといった数学的な見方・考え方を育めるよう到大変工夫されている。 (2) 割合の学習に代表されるように、児童の発達段階に応じて確実に概念形成がなされるよう、ていねいな内容の取り扱いにしたり系統性を重視した単元構成としたりするなど大変工夫がされている。 (3) 単元末に「学びを生かそう やってみよう」を配置し、学習内容を統合したり、さらに発展的に考えたりすることができるよう到大変工夫されている。 (4) 「見方・考え方を深めよう」で数量の関係や変化を図や表に整理して解決する問題を系統的に配置したり、「算数のじゅうけんきゅう」で図形の見方・考え方を深める活動を用意したりと、個に応じた指導ができるよう工夫されている。 (5) 4年下p7「たての長さを表す数」のように、児童にわかりやすい言葉を用いながらも、記述が数学的に正確な表現となるよう到大変工夫されている。 (6) 各時間に「まとめ」が示されているとともに、単元末の「学びのまとめ」に評価の観点と学んだページが示されていることで、指導と評価の一体化を図ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が、習得した知識及び技能を活用して新しい算数の知識及び技能を生み出すことができるよう、単元展開等が大変工夫されている。 ・ 児童が、自ら問いをもち見通しを立てて主体的・協働的によりよい問題解決に向かうことができるよう、学習場面の構成等が大変工夫されている。
5 総合所見	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力が育成できるよう、学習内容や数学的な見方・考え方の系統性を重視した単元構成にする等到大変工夫されている。また、新しいものごとを創造する能力を育めるよう、自ら問題を見だし、解決するための構想を立て実践し、その結果を評価改善できる数学的活動が行えるよう到大変工夫されている。

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に数学的な見方・考え方の一覧を示し、常に問題ごとに巻末を見ていくよう指示することで、基礎的・基本的な知識及び技能をどのような見方・考え方で身につけたのかが意識できるよう工夫されている。 ・「もっとジャンプ」という発展的な探究問題を配置し、学んだことを論理的につなげて考えることで解決を図る力が育まれるよう工夫されている。 ・「使ってみよう」を新設し、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさを実感できるような数学的活動を配置するなど工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1 「自分でみんなで」では、働かせるべき数学的な見方・考え方を示しながら、多様な考え方を認め合い、自分とは異なる方法についての価値づけが数学的活動を通して行えるよう工夫されている。 (2)巻末の切り取りができる「学び方ガイド」によって、毎時間の学びのステップを児童の学習活動の流れの中に位置付け、児童が一時間の授業の中で常に目的意識をもって学習に臨めるよう大変工夫されている。 (3)「使ってみよう」では、日常生活の中の角度を、自分で作った傾き分度器で測れるようにするなど、生活の中に生かす算数を意識できるよう工夫されている。 (4)問題が難易度別に「しっかり」「ぐっと」「もっと」と言葉分け、色分けされているため、つまづいた単元での振り返り学習がしやすいよう工夫されている。 (5)基礎基本問題、応用発展問題、探究問題をすべて色分けし、各単元に位置付けるなど、児童が自ら求める問題と向き合うことができるよう大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)「倍」の単元を2学年から6学年までつながりをもって新設し、児童にとって難解な「割合」がわかりやすく学習できるよう工夫されている。 (2)「わかっているかな」では、全国学調をもとに、その単元において児童がつまづきやすい内容を取り上げ、その問題で働かせるべき見方・考え方を「みがこう」という内容で示して確実に基礎基本が定着できるよう大変工夫されている。 (3)5年p134.135 単位量当たりの大きさでは、「ならしてみる」という数学的な見方をテーマに数学的活動を設定し、筋道立てて説明できるよう工夫されている。 (4)2学年から各学年に設定されている「算数マイトライ」では、各単元の練習問題を難易度別に配置し、児童のペースで自由に進められるようにするなど、個に応じて学びが進められるよう大変工夫されている。 (5)4年下・5年・6年各教科書巻末にある「よみとろう・あらわそう」では、当該学年で習う内容についての作図の手順を示し、児童の思考を助けることができるよう大変工夫されている。 (6)言葉の定義を重視し、適切な用語で学習内容をまとめることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自らの学びに基づき発表しあう場面を設けるなど、自分の発見や学びを生かして協働的に学びあうことができるよう工夫されている。 ・児童が自らのペースに合わせ、問題の難易度を選択しながら段階的に学習していくことができるよう工夫されている。
5 総合所見	数学的な見方・考え方を働かせ、既習事項との関連性を大切にしながら、基礎基本の問題からスモールステップを踏んで学ぶことにより、数学的に考える資質・能力が育成できるよう工夫されている。また、全国学調の結果をもとに考案された、学びを日常の場面に生かす活用問題が随所に配置され、未知のものごとに対し学びを生かす数学的活動が行えるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい理科）
1 教科の目標からの配慮	自然の事物・現象に触れながら問題を見出す場面を設け、児童の疑問を基に主体的に、問題解決に取り組めるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	(1) 簡易的な体験や写真資料を用いて自然現象とのふれあいを充実させることにより、単元の導入時に自由な発想を促し、児童の思いから主体的な学びが始まるよう配慮されている。 (2) 問題解決の過程を1本のラインでつなぐことで学びの流れをわかりやすくするとともに、各学習過程をページを貫く表示にして学習活動が明確になるよう工夫されている。 (3) 文章を単語の途中で改行せず文節で改行したり、「まとめ」ではすべての漢字に振り仮名をつけたりして、読みに困難がある児童への配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	(1) 下位学年の内容や、他教科の内容を想起させる「思い出そう」を配置するとともに、巻末には、「算数科で学んだことを活用しよう」を掲載し、他教科との関連を図ることができるよう工夫されている。 (2) 問題解決の過程で働かせる「理科の見方・考え方」を明示し、児童がそれらを意識的に働かせながら思考することで問題解決の力が育つよう工夫されている。 (3) 単元末に「ふりかえろう」を設け、調べてきたことやまとめの内容を「知識及び技能」の観点で振り返ることができるよう工夫されている。 (4) 「考えよう」を設け、全国学力・学習状況調査の枠組みの視点に沿った問題を記載し、学力の定着が図られるよう工夫されている。
4 全体的な特色	学んだことを広げるためのQRコンテンツが豊富に用意され、単元の導入から、予想、まとめ・振り返りまで、コンテンツを活用しながら効果的な学習が展開できるよう構成されている。
5 総合所見	児童の気づきや疑問から問題を発見し、学習の流れを紙面上に「見える化」することで、問題の把握から振り返りまで、児童主体の問題解決学習が展開できるように工夫されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>主体的に問題を見つけ、根拠のある予想を元に見通しを持った解決の方法を考え、観察・実験の結果を予想と照らし合わせながら結論を導き出す過程を大切にしている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<p>(1) 教科書の構成が「問題を見つけよう」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「結論」で組み立てられ、科学的な思考を育成することができるように項立てされている。</p> <p>(2) A4サイズの紙面を活かした写真やイラストをダイナミックに見せたり、多くの情報を掲載している。「りかのたまてばこ」では科学技術、防災、理科に関する職業の話題（キャリア教育）、SDGsなど多様な資料を掲載し、理科への興味・関心が湧くように配慮されている。</p> <p>(3) どのページにもウェブコンテンツへの二次元コードで準備品や動画を見ることができるように設定され、端末の使用に役立てることができる。</p> <p>(4) 柔らかい色合いで、挿絵の吹き出しから児童の気づきにつながる工夫がなされている。</p> <p>(5) ページ数が比較的が多く、ゆったりと見ることができる。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、 他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 問題を見つける導入の部分では、学習する場面を想定して、日常生活の中での経験を想起する写真や直接経験ができる工夫をすることで自分事として主体的に取り組むように配慮されている。</p> <p>(2) 問題を見つける場面では下の学年で学んだことを単元名とページで明示し、既習学習を思い返して考えることができるようになっている。また、「サイエンスワールド」では発展・中学校で学ぶことを掲載し、関連性や連続性に配慮している。</p> <p>(3) 単元の終わりには「たしかめよう」「学んだことをいかそう」を取り入れ、習得した知識及び技能を自ら確認し、習得した知識を活用する力をつける工夫がある。</p> <p>(4) 「問題を見つけるコツ」「予想するコツ」「計画をたてるコツ」「実験のコツ」「結果を記録するコツ」「予想するコツ」「考察するコツ」と丁寧にコツが示され、それぞれの段階での見通しが示されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>自然の事物・現象から問題を見だし、観察、実験を通して、問題解決に取り組むことができるように構成されている。児童が問題解決の過程を自覚しながら、繰り返し学習することで問題解決の力を養うことができる</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>事象と既習学習や生活経験とを照らし合わせながら問題を発見し、予想をもとに見通しを持った解決方法を考え、結果、考察、結論とつながる問題解決学習の中で、思考力・表現力・判断力を培う構成になっている。</p>

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">学校図書 (みんなと学ぶ 小学校理科)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>児童の直接体験が重視され、身近な事象から問題を見出して観察、実験を行い問題解決の力を養うように構成されている。</p> <p>多様な自然や生物の写真が掲載され、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<p>(1) それぞれの予想に沿って実験計画を立て、科学的に解決できるよう工夫されている。また、問題を明確に示し、追究の順序が矢印で示され、児童が主体的に活動に取り組めるよう配慮されている。配慮が必要な観察、実験には「注意」と朱書きされ、児童への安全についても示されている。</p> <p>(2) AB版で手ごろなサイズの中に、鮮明な写真が見開きで使われたり、ダイナミックな写真や分かりやすい図が多く使われたりして、児童の興味・関心が高められるよう配慮されている。</p> <p>(3) 割合などを見てわかるような表示方法で考えさせる工夫がなされている。また、「もっと知りたい」で理解を広めたり深めたりする補足説明を行い、「やってみよう」では、思考力を高められる実験を紹介している。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 思考の過程が意識されており、既習の内容が予想や観察、実験の計画の根拠になるよう単元の配列が工夫されている。</p> <p>(2) 単元冒頭には、単元を通して児童が働かせる理科の見方・考え方が示され、「予想」「計画」「考察」の場面では、対話を通して学習が進められるように工夫されている。</p> <p>(3) 季節に合わせて観察、実験ができるよう単元が配列されており、単元と単元とのつながりや他教科（算数科等）との関連にも配慮されている。</p> <p>(4) 単元末に「ふりかえろう」「できるようになった」が設けられており、学習内容の定着が図られるとともに、児童自身が学習後の自己評価を意識できるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>児童の意識に沿って柔軟に学習展開できる複線型学習の単元もあり、主体的に問題解決するための工夫がされている。巻末には資料集的な内容がまとめて掲載されており、必要に応じて児童が学習に活用することができるよう工夫されている。</p> <p>SDGs と学習内容との関わりを明確に示し、環境教育や防災教育の視点の内容も盛り込まれ、児童に学習内容を生活とつなげに意識が向けられるような構成になっている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>単元導入の段階でつきたい力（3観点）を具体的に示し、単元全体の方向性を意識して学習を進めることができる。掲載されている写真や図が見やすく、内容の理解や技能の習得につながるよう工夫されている。</p>

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（未来をひらく 小学理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>直接体験を重視し、具体的な観察、実験の結果を基に、更に結論を導く授業展開になっており、問題解決の力が養われるよう配慮されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </p>	<p>(1) 巻頭や巻末に各学年の目標に沿った「学習の進め方」が示され、学習内容・分量が児童の発達段階に応じるよう配慮されている。</p> <p>(2) 単元の導入では、身近な事象から学習が始まるように構成され、理科の見方・考え方を働かせて、科学的に解決できるように工夫されている。</p> <p>(3) さし絵、写真、図表などは適切に配置されていて、観察、実験ページは紙面が黄色で区別され、色合いがおだやかで目に優しく、視覚的な配慮がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </p>	<p>(1) 単元の系統性や他教科で学習した内容との関連性が掲載され、授業の中で活用できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 単元のはじめには「学習のつながり」が掲示され、他学年や中学との単元の関連性が示されている。育てたい力が教師と児童のやりとりで示され、対話的な学習となるよう配慮されている。</p> <p>(3) 全国各地からの写真が掲載されており、さし絵や図表の内容も適正かつ明瞭であり、本文との関連が密接である。実物大の資料もあり、実感しやすく工夫され、学習指導に配慮されている。</p> <p>(4) 単元末には日常生活と関連づけて考える問題が示され、深い学びにつながっている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>問題解決の場面において、育てたい力が対話形式で示され、QR コンテンツも厳選されており、理科の見方、考え方を意識づける工夫がされている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>問題解決の流れが対話形式で思考するように表現されていて、具体的な実験、観察から対話的な学びや思考力の育成につながるよう考慮されている。</p>

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">信州教育出版社（楽しい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>身近な自然に親しみながら、自ら問題を見出し、見方・考え方を働かせて問題解決することができるように配慮されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="font-size: 2em;">{</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> <p style="font-size: 2em;">}</p>	<p>(1) 学校内外での自然体験活動を重視し、地域の博物館や科学館の利用などの具体例が分かるよう工夫されている。</p> <p>(2) ものづくりを積極的に取り入れ、学んだことを生かしながら自ら工夫して課題解決できるよう配慮されている。</p> <p>(3) 学習活動の精選と効率化を図り児童が着目すべき事象をわかりやすくするとともに、児童が発想した問題解決の方法を生かしながら、時間に余裕をもって主体的に追求できるよう配慮されている。</p> <p>(4) 学習結果やまとめが子どもの図や文字に近く、ノートへの記録のイメージが湧きやすい。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="font-size: 2em;">{</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、</p> <p>「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、</p> <p>「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、</p> <p>関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> <p style="font-size: 2em;">}</p>	<p>(1) 長野県の季節の特徴や生物の生育状況、学校行事の時期などを考慮して単元が配列され、適時期に観察・実験や飼育・栽培活動ができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 単元冒頭に「思い出そう」のマークを示し、関連する学習、単元名、学習事項が分かるよう配慮されている。</p> <p>(3) 学んだことを生活との関わりの中で見直し、身の回りの日常的な事物・現象に当てはめて考察する力を養えるよう配慮されている。</p> <p>(4) 身近な素材で実験装置を作成するアイデアが記載され、市販の装置の数が揃わなくても個人実験がしやすいように配慮されている。</p> <p>(5) 当該学年の学習範囲ではないものの、学習内容に関連があり、発達段階に適合した教材を選んで「はってん」の学習として触れられるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>長野県の特徴ある自然や身近な教材・写真を多く取り入れるとともに季節の移り変わりが分かりやすく表現されており、児童にとって親しみやすい内容となるよう構成されている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>学習問題や学習課題に相当する文言が焦点化されており、まとめの文章も学習問題の答えとなるように工夫されている。</p> <p>長野県の地域性を考慮した単元設定や単元配列により、地域の自然を愛する心情を育てるとともに、実感を伴った理解が図れるよう工夫されている。</p>

採択基準	発行者名 啓林館（わくわく理科）
1 教科の目標からの配慮	<p>観察、実験の説明に写真を用いたものが多く、児童が見た視点を意識して構成されている。</p> <p>「問題？」をスタートにした学習展開が基本になっており、課題解決に向かう態度を養うことができるよう工夫されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 「まとめ」の次の位置に「もっと知りたい」が位置づいており、学習に関心を高めた児童がより深く追究できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 「理科の広場」のレイアウトが整えられていて、資料として児童の興味を高めるとともに、科学事象をより身近なものとして捉えやすい内容となっている。</p> <p>(3) 全体を通して淡い色彩が用いられており、無駄な色調を入れない、ユニバーサルデザインを意識している。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 1学期に植物・動物単元が配置されており、身近な自然環境とつながりを持たせながら教材が設定できるようになっている。</p> <p>(2) 単元導入のページにインパクトの強い見開きの写真を用いることで、導入時の意欲の喚起がされるよう工夫されている。</p> <p>(3) 巻末に配置された「オッターの資料室」では、主体的で対話的な学びのあり方や、見方・考え方についてイラストをベースにして優しく解説されており、児童が考えを深めることができるようになっている。</p> <p>(4) 学びのラインに沿って進んでいることで、本時の授業が、単元の中でどこに位置づいているのか分かるようになっている。</p>
4 全体的な特色	<p>対話的な学びを大切に人物イラストの吹き出しを提示し、学習活動の流れが分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>単元の途中や末に、理科の広場・まとめノート・たしかめよう・活用しよう・くらしとリンク・これまでの学習をつなげよう、スマート解説（QRコード）といった多様な資料があり、読み物としても楽しく深く学べるようになっている。</p>
5 総合所見	<p>学習活動の流れが、1 見つける→2 調べる→3 まとめるという学びのサイクル組み立てられており、今進めている活動がどの段階にあるのか、位置が分かりやすくレイアウトされている。</p>

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 あたらしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付いている児童の姿が具体的なモデルとして描かれており、児童たちが、協働的な追究に向けて想像していくことができるように配慮されている。 ・自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりできるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の学校生活に対応できるように、スタートカリキュラムを位置付け、安心して学習を始められるように配慮されている。 (2) 児童の表情を大きく写した大判の写真が多く掲載されており、児童が活動への憧れや願いを高められるよう配慮されている。 (3) 挿し絵の児童のつぶやきに「つけていきたい力」や、「発展して考えていきたいこと」が例示しており、児童がどんな活動ができそうかイメージしやすくなるよう工夫されている。 (4) 児童の活動をイラストで例示し、学習対象への「見方」「考え方」や「表現の例」「学習の深め方」「発展の仕方」を示すことで、児童が主体的に学習しやすくなるよう配慮されている。 (5) 単元の終末に振り返りを例示することで、学習活動の展開がイメージしやすくなるとともに、児童が個別学習する際の参考になるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節の流れを軸に時系列で構成され、一つの活動を五段階で示すとともに、他教科とも関連付けながら資質・能力が段階的に高まるよう配慮されている。 (2) 随所にWebコンテンツが準備されており、児童一人一人の疑問や関心に寄り添って個に応じた学習活動ができるように配慮されている。 (3) ページを追うごとに学習の展開が分かりやすくなる配列によって、児童が活動の見通しをもって学べるよう工夫されている。 (4) 「学びを深める」のページが設けられ、気づきを確かなものとしたり、気付いたことを関連付けたりする表現活動や交流活動の中で、主体的・対話的で深い学びの姿が分かるよう配慮されている。 (5) 挿し絵にある児童のつぶやきによって、学びを深めていく過程をイメージしやすい工夫がされており、言語活動における気づきの質が高まるよう配慮されている。 (6) 話し合いや発表活動のモデルを例示することで、表現力の向上を大切にしたい「協働的な学び」がなされるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・挿し絵や写真の児童の様子から、生活科の学習で培いたい資質・能力を示し、目指すべき活動が何か捉えやすいよう工夫され、指導者が授業・評価しやすい配慮がされている。
5 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習活動において、どんな活動をしていくことで、児童に育みたい資質・能力が身に付くかを念頭に編集されている。 ・児童の気づきを確かなものにしたり関連付けたりする表現活動や交流活動が、挿し絵や写真等で具体的に分かるように示されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしいせいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の移り変わりをもとにしながら、その時々のできる学習を「友だち」「自然」「環境」「生き物」「植物」「地域」「人」で配列し、児童が興味・関心を広げて学習が展開できるよう配慮されている。 ・児童自身に考えさせるための投げかけを示すことで、問いや考えをもてるよう促し、思考力が育まれるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムに関わるページを設け、児童の願いや疑問を誘発するように工夫され、自分自身が思考を広げて活動をしていけるよう配慮されている。 (2) 児童が学習対象のイメージを膨らませるページや、見開き全面を使った大きな活動写真を掲載することで、感性豊かな児童の興味・思考を広げたり、願いを沸き立たせ学習意欲を高めたりするよう配慮されている。 (3) 各ページの挿し絵に描かれている児童のつぶやきによって、活動の視点が捉えられやすくなっており、児童の興味・関心を引き出したり、活動への意欲付けを促したりする工夫がされている。 (4) 単元の終末に、活動の発展・まとめとなる「協働的な学習活動」や、対象にふれた先にある活動の発展形を例示してあり、児童たちが行った活動を生活と結び付けていけるよう工夫している。 (5) 生活科の活動がその後の自分に生かされている場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成できるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列は、動植物の成長、自然の変化など、季節、時間の経過や地域の特色を考慮されており、学校行事との関連も図りながら活動できるよう配慮されている。 (2) 随所にQRコードが掲載され、Webコンテンツへ接続することで、画像や動画を見られるように工夫しており、ICT機器を活用した視覚支援で、児童が対象や活動をより把握しやすくなるよう配慮されている。 (3) 身近にあるものを使った遊びについて想起しやすいヒントが多数掲載されていたり、キャラクターや教師の投げかけから、児童の活動への意欲付けや活動のイメージを捉えやすしたりする工夫がされている。 (4) 「かくしゅうのどうぐばこ」で活動に必要な「技術」（道具の使い方等）を示し、児童の活動に必要な基礎的な「知識」や「技術」について別建てで学習（指導）できるよう工夫している。 (5) 協働学習での約束事や活動イメージを掲載することで、個別学習（一人一人の探究）のまとめや、協働学習における学びが深まるよう配慮されている。 (6) 諸感覚を活用することを促す仕掛けを紙面に盛り込み、児童が体を通して直接対象に働きかける生活科の学びが実現できるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の導入において、児童の意欲関心を沸き立てながら自分自身の活動を喚起できるよう工夫され、諸感覚を活用した活動・体験を通して、実感の伴った理解に導くよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心、疑問といった、児童の主體的な学びを導くとともに、感性を刺激し創造性、表現力を育みながら活動できるよう配慮されている。 ・伝え合い、交流する場面を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で高め合うよう配慮されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">学校図書 (みんなとまなぶしょうがっこう せいかつ)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いや願いをもとに、次の活動へとつながる流れを意識した構成となっており、具体的な活動や体験、児童自身に考えさせるための投げかけから、生活習慣、生活技能を身に付けられる配慮、思考力が育まれる工夫がされている。 ・振り返り場面を大切にし、自分のよさに気付いたり、自己肯定感が高まったりするよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「はじまるよしょうがっこう」と題したスタートカリキュラムに関わるページが設けられ、自分が使用するものや場所の認識や、安全な登下校について確認できるよう配慮され、児童が安心して学校生活を送れるよう工夫されている。 (2) ページの見開きを一つの活動単位とし、願いをもち→主体的・対話的に活動→伝え合い、振り返るという紙面構成により、活動の連続性が生まれるよう配慮されている。 (3) ワークシートが多く掲載され、活動から生まれた気付きや感動を表現し、自己評価につながるよう配慮されている。 (4) 4人のメインキャラクターをイラストで配置し、活動における願いや気付き、関わり合いが吹き出しで表現され、活動のイメージがしやすくなるよう工夫されている。 (5) 資料性の高いページや巻末の図鑑ページが充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列は、動植物の成長、自然の変化などの季節・時間の過程や地域の特色を考慮するとともに、学校行事との関連も図りながら活動できるよう配慮されている。 (2) 4人のメインキャラクターのつぶやきや教師の投げかけに、気付きの質を高めるヒントを示し、児童自身の気付きの質を高められるよう配慮されている。 (3) 児童の目線から具体的な活動などが分かる写真等を効果的に配置し、ものや人と関わろうとする意欲を喚起する工夫がされている。 (4) 自分の思いや願いに寄り添った単元構成により、自分自身で判断したり、決めだしたりする学びへ配慮されている。 (5) 素材や教材が複数提示されており、地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じて選択して、繰り返し扱えるよう配慮されている。 (6) 「ものしりノート」や「まなびはずかん」のページやQRコードが設けられ、ICT機器活用への対応や、話し方や観察の仕方、活動のヒントなど、自分の生活を豊かにする工夫がされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・諸感覚を働かせながら、活動・体験する場を重視し、児童の実感が伴った理解に導くよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合い、交流する場面を繰り返し取り上げたり、様々なワークシートや学び方・活動のアイデアが示されたりし、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう個人の学びを集団で高め合う配慮がされている。 ・児童が活動をイメージしやすいように単元マークが示されるとともに、他教科と関連付けて学習が進められるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 教育出版（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識及び技能の基礎、安全に関する事項を、各ページの「ヒント」や「やくそく」、巻末の「学びのポケット」で学習できるように工夫されている。 児童が目的意識をもって活動に臨み、自ら考え、表現しようとする態度を身に付けられるとともに、メタ認知に関わる導入や振り返りが位置付くよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> 児童が感じることや思うことをもとにしたスタートカリキュラムを設け、小学校生活への期待が高まるように配慮されている。 全ての単元導入に「わくわくスイッチ」を設定し、児童の多様な思いや願いを言葉にしなが、期待感をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 活動の端緒となる吹き出し、イラスト、写真が提示されており、自身の生活を想起しながら学習できるよう配慮されている。 2人のモデル児童が登場し、発達段階に応じた対話の様子を写真や吹き出しで提示することで、児童の活動が深まるように工夫されている。 児童へ具体的な問いを投げかけたり、キャラクターが気付きの質を高める記述式やチェックボタン式による問いかけをしたりすることで、児童の疑問や探究心を喚起できるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> 教科目標から抽出した育む6つの力を、サイコロマークで示し、生活科の特質に応じた指導がなされるよう配慮されている。 単元ごとに、課題設定→学習活動→振り返り→発展の順に構成されており、小単元末には、「書き込み欄」や「ぐんぐんはしご」が設けられ、自分が学んだことを友だちと共有したり、自分の考えを捉え直したりできるよう配慮されている。 栽培・飼育活動が継続的に行えるよう配列され、ICT機器を用いながら、主体的な学びを後押しできるよう配慮されている。 身近な人々との関わりや交流活動が設定されており、交流を通して児童の学びが高まったり、深まったりしていくよう配慮されている。 総合的・総合的な指導の目安となる他教科のアイコンを掲載し、生活科で身に付けたい知識や技能を他教科の学習とつなげたり、コラムや特設ページで中学年以降の学びへとつなげたりできるよう配慮されている。 ICT機器活用例を活動写真等で豊富に掲載し、児童の学習を後押しできるよう工夫され、二次元コードを多く配置し、動画やデジタル図鑑「まなびリンク」の内容を豊富に揃えることによって、「個別最適な学び」による児童の学びが深められるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 学習の動機付けや児童が意欲的に活動しやすい単元構成、紙面構成、対話や振り返り場面の設定により、気付きの質を高める配慮がなされている。
5 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定→活動→振り返り→発展の流れを全単元で示しており、学び方のステップが自然に身に付き、児童の学習意欲を引き出せるように工夫されている。 学習の動機付けを明確にすることで、児童が自分なりの課題をもち、主体的に学習を進めていく「個別最適な学び」の実現を図るための配慮がされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">信州教育出版社（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学びに関わる意識の流れを大切にして、年間を通した連続的で具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるよう配慮されている。 ・友だち同士の学び合いや情報交換の場、発表会などが位置付けられ、自己の学びを表現できるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学期の児童の発達に考慮したスタートカリキュラムを位置付け、遊びや1日の生活など具体的な活動を中核にしなが、総合的に展開できるよう配慮されている。 (2) 地域で育つ子どもを意識し、「いつもの遊び場」や「散歩道」などの単元を設け、四季を通してその場所と関わり、働きかけることによって、気付きの質が高まるよう配慮されている。 (3) 端午の節句や七夕など「きせつのぎょうじ」のページを設け、地域で大切にされている文化にふれられる工夫がされ、地域のひと・もの・ことから豊かな人間性を育めるよう配慮されている。 (4) 見開きページを用いた大きな写真やイラストが掲載され、児童が活動への意欲を高めたり、一人一人の多様な願いや発想が生まれたりするよう配慮されている。 (5) QRコードによる、県内の植物などの図鑑的資料などが用意され、ICT機器活用につながるよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって、身近な地域の豊かな自然や日常的な事象を取り上げた単元構成となっており、他教科や中学年以降の総合的な学習の時間と関連付けられるよう配慮されている。 (2) 県内の学校の実践から生まれた内容をもとに、写真や挿し絵、ワークシートの記述、作品が多く掲載されており、児童にとって身近で、地域性や季節感を感じながら学習できるよう配慮されている。 (3) 児童が思いや願いを実現していく学習の過程が、吹き出しや写真、挿し絵などで示されるよう配慮されている。 (4) 学校生活と日常生活が双方向につながる吹き出しやイラストが示され、気付きの質を高めたり、自身の成長を自覚できたりするよう配慮されている。 (5) 動物の飼育や植物の栽培では、繰り返し対象と関わる息の長い活動を位置付け、家庭・地域との連携も大事にしながら課題を解決することを通して、豊かな人間性を育めるよう工夫されている。 (6) 地域の人やもの、文化にふれた写真やイラストが掲載され、地域で学び育つ自分を振り返られる工夫がされており、思考力や表現力の育成に配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動が児童の願いから立ち上がるよう工夫され、自ら課題をもって学習できる展開によって、自分の成長や気付きの質を高められるよう配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習対象と繰り返し関わる学習活動を掲載することで、児童自らが問題を解決していく能力を高められるよう配慮されている。 ・「人間愛」の育成を基本理念に置き、長野県の地域性を大切にした単元展開を設定した豊富な体験活動が掲載されており、地域に根ざした体験活動を通して、気付きの質を高める学びが深められる工夫がされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">光村図書出版（せいかつたんけんたい）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近な人々、自然、社会と関わる中で対象の特徴やよさ、楽しさを感じられるように配慮されている。 ・全単元において、導入→展開→振り返りで構成されており、それぞれの学習の見通し、体験活動の例、気付きの高まりの例として、児童の自己決定による体験と、主体的な表現活動が具体的に示されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が自信をもって学校生活を始めることができるように、スタートカリキュラムを位置付け、言葉や文章も発達段階を考慮した表現で書かれており、活動意欲が高まるように配慮されている。 (2) 各ページの見出しが児童の言葉で表現され、興味・関心を引き出せるように工夫されており、児童の活動や発見などを交流し合えるように配慮されている。 (3) 別冊の資料には、単元に即した多様な資料で個の学びに応じたり、汎用的な資料で日常に広く役立つ力を育んだりすることができるように配慮されている。 (4) 児童が活動するときに思ったり感じたりしていることをイラストで掲載し、自分らしく学ぶことのよさに気付くことができるように工夫されている。 (5) 多様な活動の気付きやヒントがイラストや写真で掲載され、児童の活動が広がっていくように配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動のまとまりごとに単元を構成したり、他教科との合科的な指導方法を示したりして、相互の学習効果が高まるよう工夫されている。 (2) 学びを深めるヒントが示され、児童が繰り返し対象に関わり試行錯誤しながら思いや願いを実現できるように配慮されている。 (3) 単元「わたしのはな」のように、試行錯誤の過程や問題解決の例が示されており、児童が学習を進める上での手立てとなるよう工夫されている。 (4) 小単元に「ふりかえろう」のコーナーが設けられ、内容のまとまりごとに児童自らが「情意面」と「資質・能力の面」から捉え直すことで、児童自身の学びや変容を自覚できるように工夫されている。 (5) 内容に即した多様なイラストや写真が掲載されているとともに、注意が必要な学習内容には、二次元コードを掲載する配慮がなされている。 (6) 児童の思いから活動が始まり、確かな力が身に付く学習過程を繰り返すという生活科の学び方を、導入→展開→振り返りの順に構成し、中学年以降の総合的な学習の時間における探究のプロセスへ繋がっていくよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への思いや願いをもてる写真やイラストを配置し、単元全体を児童自身が見通すことができるように配慮されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに子どもありき」という視点を大切にし、あらゆる子どもが学びに興味をもち、対象と関わりながら、自らの願いや思いを実現していく過程で、自身の学びや変容を自覚できるように工夫されている。 ・小単元は、活動が一覧で見開き完結型の構成となっており、学習活動がイメージしやすくなるよう配慮されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">啓林館（せいかつ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活からの思いや願いが次の活動につながるように「めぐり言葉」を設定し、活動が連続して進められるよう工夫されている。 ・発達段階に応じて、表現活動が系統的に設定され、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしながら、安心して学校生活が始められるよう配慮されている。 (2) それぞれの単元の中に、気付きを促すような発問や、次の活動へとつながる「めぐり言葉」が設定されており、活動が単発的にならず、気付きの質が繰り返し深まり、思いや願いが連続して学べるよう配慮されている。 (3) 単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3つの段階で構成され、それぞれの段階でページの色分けがされているため、どの段階の学習をしているのか分かりやすくなるよう配慮されている。 (4) 実物と同じ大きさの植物や生き物の写真が掲載されるなど、豊富な種類を目にすることができたり、もっと知りたいことに応えられるようにQRコードが掲載されたりし、児童の関心・意欲を引き出せるように配慮されている。 (5) 「学びのヒント」では、学習に必要な基礎知識や学び方のポイントを掲載し、全ての児童が見通しをもって学習できるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節に沿って単元が構成されており、生活科の学習と他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくよう配列が工夫されている。 (2) 児童の日常生活の思いや願いから始まり、身近な生活から社会へ広がるように単元が配列され、段階を踏んで学ぶ中で、気付きの質が高まっていくよう配慮されている。 (3) 「見つける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動や、試行錯誤したり繰り返したりして、何度も対象と関わる学習活動が位置付けられている。 (4) 振り返りのページには、言葉、絵、動作、劇化、ICT活用など、児童の表現活動や交流活動の例が豊富に掲載されており、児童の思考力・表現力を育成し、自ら発信する力を高めるためられるよう工夫されている。 (5) グループで考えたり、話し合ったりする活動の様子が具体的に示されており、「協働的な学び」へのイメージがしやすい配慮がなされている。 (6) 児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が身近な環境に直接働きかける学習活動が行えるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階に分けて構成されており、活動の流れがイメージしやすく、活動が発展し深まっていくように構成されている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活から生まれる思いや願いから始まり、分かりやすく段階を踏みながら、活動を通して気付きの質が繰り返し深まるように配慮されている。 ・児童の知的な好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料や、振り返りのページに多様な表現活動が掲載され、児童の思考力や表現力が高まるよう工夫されている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版社（音楽のおくりもの）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>・児童が興味関心を持ちやすい多様な教材や活動が掲載され、表記の仕方が工夫されていることで、主体的・対話的に学ぶことができるよう構成されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 </p>	<p>(1) 学年に応じて多彩な教材や他教科横断教材があり、既習事項や他教科と関連づけ系統的に基礎基本の力がつくよう題材の構成が工夫されている。</p> <p>(2) 身の回りの音に意欲を持たせたり、多彩な創作活動を組み合わせたりして友と関わり合いながら学年ごとに経験を積み重ね、学習できるよう展開の工夫がされている。</p> <p>(3) 鑑賞では、QRコードのまなびリンクにつなげることで、演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きをとらえることができる動画を視聴できる工夫がされており、実感を伴った鑑賞学習につながるよう示されている。</p> <p>(4) 教材の右上に感じたことをメモできるような場所があったり、「まなびナビ」として学び方のヒントが示されたりして、児童が見通しをもって主体的に学習を深めていくことができるように配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 </p>	<p>(1) 各学年の最初に「学習マップ」では学習の進め方が示されており、1年間の学びを見通すことができ、巻末の『「音楽のもと」のまとめ』では、「音楽を形づくっている要素」を観点としてふりかえりができるように工夫されている。</p> <p>(2) 「音楽を形づくっている要素」が「音楽のもと」として示されたり、「まなびナビ」や「学び合う音楽」に児童が関わり合いながら活動できるよう配慮されたりして、主体的・対話的な学びができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 各学年の様々な教材で、児童がペアやグループで活動できる学習が多く掲載され、児童同士が自然と関わり合いながら協働的な学びができるよう工夫されている。</p> <p>(4) 折り込みを使った大きな写真で、歌詞の内容に忠実な写真は、子どもたちが教材の情景や心情が捉えやすくなっていたり、楽器の学習では、大きな写真により指番号や指使いが分かりやすくなっていたりなど有効な配慮がされている。</p> <p>(5) 音のスケッチでは、子どもたちが思いや意図を生かして音楽をつくることができるように、紙面で旋律をつくりやすくなるよう詳しい例が示されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>・「まなびナビ」「音楽のもと」があり、児童の主体的・対話的な学びを促し、系統的に基礎基本を身につけていく工夫がされている。</p> <p>・学びの系統性に配慮し、子どもたちの学習が深まるように発達段階に合わせて編成の工夫がされている</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>・学習の見通しや活動がわかりやすく明示され、資質・能力を育みながら学びが深まる構成や配列になるように工夫されている。</p> <p>・子どもたちに思考させたい内容について丁寧に記述しており、子どもたちが自らの学びの中で「気づき」や「学ぶ楽しさを発見すること」を大切にする工夫がされている。</p>

発行者名	教育芸術社（小学生の音楽）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p> <p>2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>・児童が興味関心を持ちやすい様々な楽曲や音楽活動がバランスよく掲載され、友と協働しながら主体的・対話的に学ぶことができるよう構成されている。</p> <p>(1) 学年の発達段階に応じた教材や学習内容が系統的に配列され、基礎基本の力が身につくよう工夫されている。</p> <p>(2) 各教材に「見つける」「考える」「歌う」など、児童がどのように学習を進めたらよいか学びが見える工夫がされていたり、QRコードが掲載されたりして子どもたちが主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。</p> <p>(3) 「おもいだそう」では、その学習に関連のある教材とのつながりが分かる工夫がされている。また、学習の終末には、学んだことのふりかえり、今後の学習につなげていけるような内容を明確に示してあり、何が分かったのか大切なのか分かりやすいよう配慮されている。</p> <p>(4) 題材名の下部には、「～かな」という学習問題が明記されており、児童たちにどんな学習が始まるのか、興味関心をもたせ、見通しをもって主体的に学習を深めていくことができるよう配慮されている。</p> <p>(5) 白を基調とした紙面デザインで、教科書全体の統一を図ることによって色覚特性や発達障害を抱える子ども等ユニバーサルデザインを意識した配慮がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 各学年の最初にある「学習マップ」では1年間で学習する内容について見通しをもつことができ、巻末の「ふり返りのページ」では学習したことを振り返って確認したり、学習内容を関連付けたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 学習の中で、友と演奏をしたり、その楽曲の思いを感じて話し合ったりする活動例が掲載され、イラストの吹き出しには活動のヒントが示され、協働的な学びにつながるよう具体的な工夫がされている。</p> <p>(3) 題材の左上には教材ごとの学習目標が、右下にはその学習で大切な共通事項に関する「音楽を形づくっている要素」が示されており、どのような資質・能力を身につければよいか分かるよう工夫されている。</p> <p>(4) 教材曲の特徴的なリズムや旋律の動きを線や図形、色で大きく視覚化され捉えやすいように配慮されている。</p> <p>(5) 音楽に関わるコラムを設けたり、SDGsにつながる視点を提示したりして、子どもたちが社会や生活と音楽との関わりについて考えるきっかけになるように工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>・何を学ぶか視覚的に明確になるような工夫や、学びがつながるように系統的な題材構成により小中9年間の学習の積み重ねられる工夫、子どもたちが楽しく学ぶことができるようわくわくしながら学習に取り組むことができる紙面の工夫がされている。</p> <p>・題材のねらいに沿って、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランス良く配列されているため、様々な学習を通して楽しみながら音楽の力を身につけることができるよう工夫されている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>・子どもたちが「何を学ぶのか」「何ができるようになるか」が明確になっている。</p> <p>・学習活動を「思考力、判断力、表現力等」「知識」「技能」の資質・能力に対応するように構成され、これらの学習活動を相互に関わらせることで、子どもが「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が具体的にわかりやすく示されている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>開隆堂（わくわくするね 他 図画工作）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>・評価の三観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を3つのキャラクターにしている。そのキャラクターを使って題材の巻頭のページに表し、活動内容や題材でつきたい力を、児童にもわかりやすく表記している。また、学習のめあてで特に大切な内容については赤字にしたり、下線を引いたりして分かりやすく示してある。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<p>(1)各領域の学習が発達段階に応じて、系統立てて組み立てられており、前年度の学習を生かして造形活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(2)発達段階にそった表現の作品例が掲載されており、児童が製作への期待や意欲をもつことができるよう配慮がなされている。</p> <p>(3)題材のページに、活動している児童の写真やつぶやく言葉があり、児童が具体的に活動のイメージがしやすい工夫がなされている。</p> <p>(4)全体的に落ち着いた配色で構成されていて、児童の発想を大きく左右しない配慮がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<p>(1)全学年を通して、分野・領域毎にねらいを考慮し、材料の種類や技法などの関連が図られており、表現や鑑賞の活動を広げることができるようバランスよく題材の配列がなされている。</p> <p>(2)題材で中心になる評価の観点について、キャラクターの言葉で示してあり、活動のねらいを児童が焦点化しやすい配慮がなされている。また、振り返りの観点も題材のページに示されていて、自己評価を積み重ねることができるよう工夫されている。「ふりかえりシート」や「かんしょうシート」などはQRコードで掲載されており、児童がそれぞれの進捗で学習を進めるのに活用できる。</p> <p>(3)巻末に「学びの資料」があり、各用具や材料の特性を知り、表現に生かしていけるよう配慮されている。絵の具等の描画材料や、版画の製作方法も分かりやすく掲載されている。また、刃物等の安全な使い方についての記載がされるなど、安全面での配慮がなされている。</p> <p>(4)「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」として様々な造形作品・造形活動を紹介し、児童が興味を持ち、造形活動の幅を膨らませていくことができるような工夫がされている。</p> <p>(5)題材毎に他教科と関連の視点が示されていて、図画工作での学びを他教科でも生かせるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>・表現の多様性を感じることができる作品や、制作している児童の様子の写真を掲載し、児童の製作意欲を刺激し、発想を広げるなど、主体的な学びを支えている教科書と言える。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>・児童が友とかかわって制作に取り組むことができる造形活動、言語活動を重視し対話的な活動がなされる題材など、より深い学びを行えるように配慮されている。</p>

採択基準	発行者名 日本文教出版（ずがこうさく1 2上下）（図画工作3～6上下）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> • どの題材でも、制作中の相互鑑賞場面の写真を掲載するなど、表現と鑑賞の一体化を意識した学習ができるように配慮されている。 • どの題材でも、ページの最初に3つの目標にてらした題材のねらいが書かれており、経験の浅い教師でもねらいに沿った授業ができるよう配慮されている。 • 一つの題材でも多様な表現の作品写真や、制作中の写真を掲載し、造形的な見方や考え方を働かせられるようにしている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1)12年上の教科書では、領域ごとの「〇〇スタート」ページを設け、就学前に遊びとして行っていた造形活動の延長で、自然に図画工作科の学習に入れるよう配慮されている。 (2)発達段階に応じた無理のない題材配列がなされている。また扱う道具や素材も、学年の内容に準拠したものであり、前年度までの学びを生かして表現や活動できるよう配慮されている。 (3)作品だけでなく、活動中の児童の写真が豊富に掲載されており、その表情や吹き出しのセリフなどから、楽しそう、やってみたいという意欲が喚起されるよう工夫されている。 (4)多くの題材でページの最後に「要具・作品」のQRコードがついていて、教科書に載っていない作品の写真や、詳しい道具の使い方を動画で視聴できる。しかけの作り方も動画で視聴することができ、正しい知識技能を身につけたり、発想を広げたりする手立てとして使えるよう配慮されている。また制作後に鑑賞学習でも活用することができる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)6年間を通して同じ素材を繰り返し扱えるようになっており、全学年までの学びを生かした系統的な題材配列ができるよう工夫されている。 (2)どの学年の教科書も巻末に「材料と用具の引き出し」コーナーを設け、「描く」「木の加工」「粘土」など、表現方法や素材ごとに基本的に正しい知識や技能を習得するための配慮がされている。連学年では同じ素材でもより幅広い技法を紹介するなど、発達段階に応じて児童の思考力、判断力を高める工夫がなされている。また徹底した安全面での配慮がなされ、「ポイント」「気をつけよう」といったマークと共に掲載されている。 (3)見開きページの最初に「導入の発問」「学習のめあて」が明記され、見開きページの最後には「ふりかえり」の視点が示されていることで、題材のねらいに沿った展開をすることができる。また他教科とのつながりが示されており、カリキュラムマネジメントの視点も示されている。 (4)「教科書美術館」「図工のみかた」「広がる図工」「アートカードを楽しもう」等のページが充実しており、題材の導入時などに組み合わせることで、発想・構想を広げるヒントになったり、造形的な見方・考え方を広げたりすることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> • 構成がどの題材でも共通しており、中間色が多く使われていることで、全体的に落ち着いた印象を受けるが、実際の授業で活動中の児童の写真が多く使われていることで、表現する楽しさを感じ取ることができる。 • 各題材の最後にあるQRコードから様々なコンテンツを利用することができるようになっており、ICTの活用による学びの広がりを意図したつくりになっている。
5 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ題材で多様な素材を使った作品が掲載されていたり、「特に大切な目当てのヒント」「鑑賞のヒント」に具体的な声かけの例が示されたりしており、令和の日本型教育を意識した授業作りが行えるよう配慮されている。また社会や将来とのつながりを意識した題材も多く配置されている。

発行者名	東京書籍（新編 新しい家庭）
採択基準	
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列され、知識及び技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・各大題材において3ステップで構成され、問題解決的な学習ができるよう配慮されている。 ・自分の生活を見つめなおし、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 衣食住に関する内容が、基礎・基本から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。また、児童の主體的・対話的な学びにつながる活動例が取り上げられている。 (2) 大題材が「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで構成され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫がなされている。 (3) 写真のある手順表は横流れ、場合によっては縦流れで1ページにまとめられている。 (4) 大判化、UD教科書体、重要語句の太字、色彩などユニバーサルデザインが実現されている。 (5) 衛生・安全に関する特集ページが新設され、本文中にマークやチェック欄を用いて、注意喚起されるよう配慮されている。 (6) 具体的な手順を示した写真やイラストが配置され、QRコード、見出し等の工夫によって、児童の意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての内容において、統一感、関連性をもって学習できるよう組まれている。生活を見つめ、集団や個別で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の習得につながるように学習が配列され、家庭との連携に発展する内容で構成されている。 (2) 学んだことを家庭や地域と連携し、実践的な学習活動が展開できるよう配慮されている。 (3) 大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習が進められるようにし、深い学びを実現できるような扱いがなされている。また、実践的・体験的な活動を通して、思考力・判断力・表現力育成されるよう配慮している。 (4) 実習の時に気を付けることが載っており確認しやすい。 (5) SDGsの視点や持続可能な社会の構築に関する内容、プログラミング教育、キャリア教育に関する内容が取り上げられている。 (6) 題材の各ステップのめあてに呼応した「できたかな?」「ふり返ろう」の欄と、題材全体を振り返る「成長の記録」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性やジェンダーに配慮したイラストや写真を掲載している。 ・デジタルコンテンツの活用について工夫されている。 ・全題材で、具体的な活動内容が示され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ・「成長の記録」はポートフォリオとして扱い、自己の成長を実感できるよう工夫されている。
5 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を有効的に進めるため、「3ステップによる構成」とし、他者と協働し学習を深められる。また、「生活を変えるチャンス!」を通して自ら考え、実践的・体験的な学習活動が展開できるよう工夫されている。 ・各大題材に深い思考を促す「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方を働かせながら学習が進められるようになっており、すべての児童が読みやすく意欲を高められるような工夫が多くされている。

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>開隆堂出版（わたしたちの家庭科5・6年）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう生活の課題から実践につなげる工夫がされている。 ・すべての題材が3ステップで構成され、問題解決的な学習を取り入れ、課題を解決する力を育てられるように配慮されている。 ・生活を振り返る四つの視点を示し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、日常生活の中の課題を解決する活動を位置付けるなど、学んだことを実践に生かせるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎・基本から応用へと系統的な衣食住の題材配列になるよう工夫されている。 (2) すべての題材が3ステップで構成され、問題解決的な学習に取り組めるよう「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の段階を全ての題材で示すなど構成が工夫されている。 (3) 興味・関心をもって追究できるよう、実践的・体験的な学習例や活動例を写真や多様な人々が登場する挿絵等で取り上げ、児童が実感を伴って学習を進められるよう配慮されている。豊富な動画コンテンツも意欲を喚起できる。 (4) A4判になりキャラクターや学びに寄り添うクローバー、題材を象徴する写真やイラストなど、学習を楽しく自分ごととして身に付けていけるように工夫されている。 (5) 衛生・安全に関する事項を写真・イラストで強調して、注意喚起されるように配慮されている。 (6) 手順が見開きで大きな横流れで示されていたり、写真や図表、イラスト、キャラクター、QRコードの配置や配色の工夫がなされていたりするなど、意欲を高めるように配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 指導内容が細分化され小単元ごとにまとまっている。 (2) 「生かす・深める」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事と関連付けて活用できるように配慮されている。 (3) その題材で意識する「生活の見方・考え方 4つの視点」を図で示し、児童が主体的に相互に関わりながら活動できるように、題材の取り扱いがなされている。 (4) 「マネジメント」という言葉を採用し、生活時間を主体的に有効に使うにはどうしたらよいかという姿勢が見える。 (5) 日常生活に係る写真や図、イラスト等を示すことで、社会の様々な事象に目を向けることができるよう工夫がされている。吹き出しの問いかけも有効である。 (6) 「できたかな」「学習を振りかえろう」「生活に生かそう」の記入欄が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に学べるよう、徹底した安全への意識・食物アレルギーへの注意喚起など掲示されている。 ・調理や製作実習の流れが横流れのデザインで統一され、学習の流れがつかみやすいように工夫されている。 ・中学校「家庭分野」の学習内容が写真やイラストでまとめられている。
<p>5 総合所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、生活そのものに主体的に関わってほしいというメッセージが読み取れる。クローバーで表現された4つの視点が学習の中で位置づけられ、身近な生活から課題を発見し、見方・考え方を働かせながら問題解決的な学習を進めていけるよう工夫されている。

発行者名	2 東京書籍（新しい保健）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p> <p>2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<p>(1) 身近な生活の中の課題を自分事として捉え、様々な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう配慮がされている。</p> <p>(2) 学習した知識を基に自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮がされている。</p> <p>(3) 他学年や他教科とのつながりや関連資料が示され、学びをつなげ、健康の保持増進を目指すことができるよう配慮がされている。</p> <p>(1) 小単元での絵や写真の量、記述する量が学年に応じて変えられており、発達段階に応じた内容の配慮がされている。</p> <p>(2) 小単元が「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の四つのステップで構成されており、健康について自分事としてとらえやすくなっている。また、記述スペースが十分にあり、個人追究が十分でき、児童の主体的・対話的な学びを支える工夫がされている。</p> <p>(3) 資料が多く、「実習」「スキル」のコーナーが位置付けられており、児童が自分で試したり生活に生かしたりできるよう実践につながる工夫がされている。</p> <p>(4) デジタルコンテンツが、豊富ですぐ活用できるように示されている。資料で関連する内容や重要語句の解説を扱ったりするなど、児童が理解しやすいよう配慮がされている。</p> <p>(5) 大きな写真、吹き出しのあるイラストや漫画を用いての問題提示により、児童の学習の意欲や思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<p>(1) 章扉に、学習に関連する目標や他学年や他教科の学習内容、SDGsの内容が明記されていたり、多様性に配慮したキャラクターなどが登場したり、今日的課題に対する対応関連付けに工夫が見られる。</p> <p>(2) 導入を1ページの写真やイラストで行い、生活場面を振り返り自分事として考え、ページをめくると学習課題が示され、児童の主体的な学びにつながるよう工夫がされている。</p> <p>(3) 「スキル」のコーナーで命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。</p> <p>(4) 自分の気付きや考え、まとめ等を記入する欄が各ステップに配置され、個々の学びの様子が1時間ごと記録、確認できるよう工夫がされている。</p> <p>(5) ステップ4（まとめる・生かす）では、振り返りを行うとともに、次時へつながる内容が示され、授業ごとのつながりが配慮されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1) 1時間の学習が4ページ、4ステップで構成され、自分の考えを書き込め、ステップ1の後にページをめくると学習課題が提示される仕組みになっており、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>(2) 各小単元の終わりに「資料」や「スキル」が示され、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫がされている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>○1時間の学習過程を「課題把握、学習の見通し、思考・判断・表現、学習のまとめ・活用」となる4ステップ（4ページ）を基本に構成し、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>○ステップごと記述欄があり、児童の学びの様子が記録・確認できるように工夫されている。</p> <p>○振り返りのページでは、知識の定着や自分事として捉える構成になっている。</p>

発行者名 採択基準	4 大日本図書（たのしい保健）
1 教科の目標からの配慮	(1) 章の終わりに学習内容を確認する欄があったり、ウェブサイトで問題を設けたり、知識や技能の定着と確認を図る配慮がされている。 (2) 自分の考えを記入したり、他者との話し合いをしたりすることで、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。 (3) 身に付けた内容を家庭や地域において主体的に実践できるよう配慮がされている。 (4) 他教科横断的な内容について、関連がわかるように示されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 1時間の学習内容が見開き2ページ分で構成され、発達段階に応じた分量となるよう配慮がされている。 (2) 大単元の導入で、キャラクターを探す活動やフローチャート図などの学習ゲームを用いることで、興味・関心をもって主体的に課題解決に向けて学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「つかもう」「考えよう」「話し合おう」等の見出しやミニ知識の掲載など、分かりやすさの点で工夫がされている。また、デジタルコンテンツが豊富である。 (5) 大単元の導入のイラストを細分化し、学習内容に合わせて考えることができ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 巻末ページに次学年の展望が示してあると共に、将来に向けて夢や目標を記入する欄があり、学びの系統化が図られている。 (2) 関連しているページが分かるように矢印で示されていたり、中学校の単元が示されていたりして、つながりのある学習となるように工夫がみられる。 (3) 折込をつかうことで、情報が見えすぎないような工夫があり、課題に集中できるように工夫されている。「活動を行うときのヒント」を確認することで、常に意識でき多様な指導方法ができるよう工夫がされている。 (4) 単元のまとめでは、内容ごとに自己評価ができ、今後の自分について考えられるように工夫されている。 (5) 「もっと知りたい」のページには多くの写真やイラスト、図表が示され、場面や状況が理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 1時間ごとに「活かそう」を授業のまとめに位置付け、大単元のまとめとして、「ふり返ろう」「明日へつなげよう」を位置付け、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	(1) 大単元導入時に学習ゲーム「わたしたちはどこかな？」を行い、絵から日常に潜む保健的な課題を見だし、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫がされている。 (2) 様々な学習活動を通して課題を解決し、大単元の終末には、記号と記述によるまとめができるよう工夫がされている。
5 総合所見	○大単元導入時にゲームや体験、フローチャートなどを提示し関心を高め、主体的な課題解決学習が進められるように配慮されている。 ○見開き2ページで1時間が構成され、「ここで学ぶこと」が明確に示され、常に課題を意識した学習ができるように配慮されている。 ○デジタルコンテンツが豊富で発展的な学習につながることを期待できる。

発行者名	50 大修館書店（新 小学校保健）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>(1) 身近な生活の中の課題を自分ごととして捉え、四つの学習活動を通して知識及び技能を習得できるよう配慮がされている。</p> <p>(2) 学習した知識を基に自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮がされている。</p> <p>(3) 日常生活や運動領域と保健とのつながりが示され、健康の保持増進を目指していくことができるよう配慮がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 3、4年では 20 点、5、6年では 31 点の資料が提示されており、学年に応じてより実践動画や発展的に学べるよう工夫がされている。</p> <p>(2) 1時間の学習の最後に「ほけんクイズ」が設定されており、児童の学習意欲を喚起し、主体的な学びを支える工夫がなされている。</p> <p>(3) 「体育の窓」のコーナーが設けられ、運動領域と保健の学習（健康）との関連が捉えやすいよう配慮がされている。</p> <p>(4) 「導入」「課題解決活動」「まとめ」の各段階で見出しの色やマークが分けられ、学習課題や学習の流れを把握できるよう工夫がされている。</p> <p>(5) 各章扉で、各界で活躍する著名人のインタビューを掲載し、豊かな情操、道徳心、健やかな身体を養うことなど興味や関心をもって学習をスタートできるよう工夫がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 「5、6年で学習すること」や「3、4年で学習したこと」が巻末や目次に示され、学習事項の系統化が図られている。</p> <p>(2) 生活習慣病の学習が虫歯から始められ、児童にとって身近な問題から導入していけるような配列の工夫がされている。</p> <p>(3) 課題解決に向けて「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の四つの活動が設けられ、多様な方法や形態で追究できるよう工夫がされている。</p> <p>(4) 資料では動画や内容が実践につながるように配慮されている。また、「はってん」で命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。</p> <p>(5) 各章の最後に「学習をふり返ってみよう」のページが設定され、自分の取組の様子や知識の定着、これからの活用に向けた考えについてふり返られるよう工夫がされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1) 内容の配列を入れ替えたり、導入で著名人のインタビューを掲載したりすることにより、児童が興味や関心をもって取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた量の資料や「体育の窓」の掲載により、学んだ知識の活用や、発展学習ができるよう配慮がされている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>○1時間の学習内容が3段階で見開き2ページにまとめられており、学習の流れが分かりやすく、主体的・対話的な学びにつながる構成になっている。</p> <p>○課題解決場面が「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の四つの活動が設けられ、多様な方法で追究するように工夫されている。</p>

発行者名	207 文教社（わたしたちの保健）
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>(1) 各単元で端的にまとめられた「学習のまとめ」が設けられ、その時間で学習した知識の定着を図る配慮がされている。</p> <p>(2) 追究場面では、「調べる」「話し合う」「やってみる」活動を位置付け、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。</p> <p>(3) 単元のまとめで、これからの自分を記述する欄を設け、自分の生活の中での実践につなげられるよう配慮がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 授業の導入場面で、3・4年生では選択式、5・6年生では資料や記述を中心に、課題把握ができるように、発達段階に応じて配慮がされている。</p> <p>(2) 単元導入時に、生活場면을イメージした写真を掲示したり、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして話し合ったりすることを通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫がされている。</p> <p>(3) 不安や悩みの対処では、運動領域の「体ほぐしの運動」が紹介され、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。</p> <p>(4) 登場人物の吹き出しや「ここが大事」のコーナー等で、大切な用語や内容を理解しながら、学習を進められるよう工夫がされている。</p> <p>(5) 印象に残したい言葉や数字を太字で示したり、Mission（学習内容）、Stage（学習活動）という用語を使ったりして学習意欲を高められるよう配慮がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、 他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 次の学習内容へのヒントを示した「ちょっとまった!」、次の学習活動へのヒントを示した「クリア」、児童へのメッセージを記載したページ下部の「つぶやきくん」により、学習意欲がもてるように配慮がされている。</p> <p>(2) ページ下部の「つぶやきくん」に他学年の学習内容が示されており、他学年の学習内容との関連付けに工夫がなされている。</p> <p>(3) 交通事故防止や地域での安全では、実際のデータを示すことで、保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に活動に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>(4) 自転車の安全点検に関わる写真が載っており、交通安全への配慮がされている。</p> <p>(5) 対比できる写真を使用し、よい習慣とよくない習慣を比較して考えられるよう工夫がされている。</p> <p>(6) 各単元の章末に、「これからの自分の課題を考えよう」の欄があり、単元の学習を振り返るとともに、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫がされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1) 実生活と結び付きやすい写真やデータを示し、保健の見方・考え方を働かせ、これからの生活をよりよくしようとする意欲が高まる工夫がされているが、各ページの資料や情報量が豊富である。</p> <p>(2) 各単元の章末に「〇〇宣言」の欄が設けられ、自身の生活をよりよいものにして自分事としてとらえ意欲が高まる工夫がされている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>○単元の導入が見開き2ページで構成され、健康や安全に関わってイメージでき、学習の動機づけに配慮がされている。</p> <p>○資料などが豊富で様々な観点から考え合うことができるように配慮がされている。</p>

発行者名	208 光文書院 (小学保健)
採択基準	
1 教科の目標からの配慮	<p>(1) 章末に学習してきた重要な言葉を選択して答える問題を設けることで、知識が定着するよう配慮がされている。</p> <p>(2) 話し合っ考える活動や、周りの意見を聞く活動を取り入れ、他者と考えを交流できるよう配慮がされている。</p> <p>(3) 児童が自分の健康課題を解決し、学んだことを実生活に生かせるよう配慮がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 単元のはじめに4コマ漫画が示され、これから学習する内容が発達段階に応じて理解しやすいよう配慮がされている。</p> <p>(2) 「見つけよう」の活動を設定し、はじめに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから課題を提示することで、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>(3) 各単元の終末にある「広げよう」「深めよう」では、運動領域との関連資料や生活に密着した資料等が示され、学習内容が今後の生活に生かされるように配慮されている。</p> <p>(4) 課題解決に向けて学習活動をする「調べよう」「考えよう」「話し合おう」では、星印をつけたり、太字にしたりして、大切な文章であることが分かりやすいように工夫されている。</p> <p>(5) 黒板のイラストの中に「学習の課題」を設けることで、的確に学習課題をつかみ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 学習内容のねらいに即し、4年間を見通して系統的な順序で配列されている。</p> <p>(2) ページ下部に他学年の内容が示されており、各内容の配列や関連付けに工夫が見られる。</p> <p>(3) 課題解決に向け、自分自身の生活と比べたり、自分の考えを他者に伝える学習活動を提示したりし、多様な方法で課題追究ができるよう工夫がされている。</p> <p>(4) 外出時の安全や自然災害の備えに関するイラストが記載されており、実践につながられるよう配慮がされている。</p> <p>(5) 様々な分野で活躍している人物の写真やメッセージがあり、保健の学習と実生活の関わりが理解しやすいよう工夫がされている。</p> <p>(6) 各章末に「学習のまとめ」があり、自分事として捉えて自己評価したり自分の生活に生かしたいことを考えたりする活動を設定し、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。</p>
4 全体的な特色	<p>(1) 各章や毎時間の始めに、日常生活における課題や情報と保健で学習する内容を結び付けられる活動を設定し、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>(2) 学習の流れや進め方が分かりやすいように見開き2ページで構成され、基本的・基礎的な知識及び技能を習得できるように工夫がされている。</p>
5 総合所見	<p>○1時間が見開き2ページで構成され、日常生活での実践に結びつけることができるよう配慮されている。</p> <p>○対話的な学びがたいせつにされ、話し合う場面、考え合う場面を多く取り入れるように工夫されている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>224 Gakken (みんなの保健)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>(1) 生活を振り返ったり、実習などの活動を取り入れたりすることで、健康や安全について理解が深まるよう配慮がされている。</p> <p>(2) 三つのピースを通して、自己の課題を見付け、その解決に向けて、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮がされている。</p> <p>(3) 生活と重ねて自分ごととして考えたり、他教科と関連付けたりすることで、実践意欲を高められるよう配慮がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 写真やイラストを大きく配置することで、学年の発達段階に応じて学習の興味・関心が高められるよう配慮がされている。</p> <p>(2) 自分で考える、友だちやみんなで考える、身に付けたものを生かす学習の流れに統一されており、主体的・対話的に学習できるように工夫されている。</p> <p>(3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。</p> <p>(4) 言葉の詳しい説明や関連する情報をページ下に記載し、分かりやすさに配慮した工夫がされている。</p> <p>(5) 単元の扉に学習目標や流れがわかりやすく示されていたり、写真やイラストなどにより場面や状況を視覚的にイメージしやすくしたりして、学習意欲を高められるよう配慮がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) 巻末ページに次学年や中学校での学習内容が示され、系統化が図られている。</p> <p>(2) 導入（今までの自分を振り返る）に1ページを活用し、写真、チェックリストなど内容が工夫され、主体的な学びにつながるよう考えられている。</p> <p>(3) 「科学の目」、「ほげんのはこ」のコーナーがあり、発展的な内容の資料を活用し、学びの深まりや広がりにつなげている。</p> <p>(4) 多様な学習形態が設定され、記述欄が豊富なので、自分の考えをしっかりと持って主体的に話し合いに参加でき、考えを深めることができるよう配慮されている。</p> <p>(5) 大単元のまとめとして、「ふり返る」「伝える」「つなぐ」を位置付けたり、記入欄を多く設けたりして、評価の観点が明確になるよう工夫されている。</p> <p>(6) 「つなぐ」のマークで他教科や他学年の学習内容やキャリア教育と関連付けて学習することができるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1) 日々の生活行動を振り返り、健康との関連から課題を見だし、他者と交流しながら多様な学習活動を通して、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 記入欄を多く設け、ワークブック的な活用ができ、1冊の教科書で完結できるように工夫がされている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>○1時間の学習内容が見開き4ページで構成され、学習課題に即して学習が展開されるように工夫されている。</p> <p>○子ども達の思考の流れに沿った1時間の授業の流れになるように配慮されている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍 (New Horizon Elementary English Course)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く活動で表現に慣れ親しみ、学習した表現を使ってペアやグループで話す活動を行い、読む・書く活動につながる構成で、外国語についての基礎的な技能を身につけられるよう配慮されている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、主体的に考え、表現できるよう言語活動が設定されている。 ・自分や身近なことから、日本、世界へとつながり、SDGs に視野を広げ、他者や世界との関わりに着目できるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1 ページ1 時間、各単元が見開き 4 パート構成、計 8 時間の 8 単元構成で、標準時間内で学習ができるように配慮されている。いくつかの Unit を終了した後、その内容をまとめた Check Your Steps で発展的に考えたり表現したりすることができるよう工夫されている。 (2) 音声に関れ親しむ活動から、新しい単語や表現に気づき、コミュニケーション活動の中でそれらを活用することで身につけられるよう工夫されている。 (3) 見通しをもつ Our goal、伝えたいことを考える Your Plan、会話や発表で気をつけたいことを考える Your Goal の単元構成で、単元目標を意識しながらさまざまな活動を繰り返し、スモールステップで学べるように配慮されている。 (4) 各単元、文字と音の関係の学習が 2 ページ分扱われており、意図的に学ぶ時間を確保することで、音声から読み書きへ段階的に無理なく学習を進めることができるように工夫されている。 (5) A4 判で、理解を助ける鮮明な絵や写真、図が豊富に使用されている。見開き 2 ページを使って考えたり活動したりできるよう配置に工夫が見られる。フォントや配色にユニバーサルデザインが使用されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 慣れ親しむ練習活動から、表現を考えて会話や発表を楽しむ言語活動を行う自然な流れで単元が構成されている。 (2) 5 年は日本、6 年は世界をテーマに言語材料が選列され、段階的に視野を広げて考えながら、既習事項を繰り返し学習することができる工夫がされている。 (3) 言いたいことを考え言語材料を選択して伝え合ったり、グループで発表したりする協働的な学習で、知識及び技能や内容の定着、自己表現力の育成が図られるよう工夫されている。 (4) 目的に応じて思考・判断して情報を整理し、考えを発信する活動が豊富に用意されている。各 Unit に自分の考えや学習した内容を書くスペースがあり、自己評価や振り返りを容易に行うことができるよう配慮されている。 (5) 各単元での対話場面や状況等がわかる映像や写真が豊富に盛り込まれており、児童が自分のペースで学習を進めることができるよう配慮されている。 (6) 各単元には評価の 3 観点に即した目標と振り返りが、CAN-DO リストには 2 年分の目標が明示され、指導と評価の一体化が図れるように、また、児童と共有し自己評価できるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に設けられた豊富な書き込みスペースでは自由に考え表現することができる。また、自分の考えをデジタルテキストに保存することもでき、ワークシートがなくても児童の学びの足跡となる。 ・別冊 A4 判の絵辞典は、巻末に単元別表現集と CAN-DO リストがあり、語彙も多数登録され、空欄 4 線に書き込みもでき自分だけの絵辞典となる。
<p>5 総合所見</p>	<p>自分や身近なことから、日本、世界へとつながり、SDGs に視野を広げ、他者や世界との関わりに着目できるよう工夫されている。各 Unit に自分の考えや学習した内容を書くスペースがあり、自己評価や振り返りを容易に行うことができるよう配慮されている。</p>

発行者名	開隆堂 (Junior Sunshine)
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身につけられるよう配慮されている。 ・コミュニケーションにおいて大切なことを考える活動が設定されており、児童が目的や場面、状況などに応じて工夫して表現できるよう配慮されている。 ・各単元で異文化情報が扱われており、外国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な話題を適切な時数で扱うとともに、概ね1ページ1時間の流れで構成されており、児童が見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 吹き出しを使って例文が示されており、対話の場面や状況を把握しながら無理なく表現活動ができるよう工夫されている。 (3) カテゴリーゲームやポインティングゲームなど多様なゲーム活動を取り入れることで学習意欲を喚起し、児童が興味関心を持ち、対話的な活動へとつなげられるよう工夫されている。 (4) 各単元が、聞くことから始まり、簡単な発話による練習を経て、発表・やりとりへ進み、コミュニケーション活動を段階的に行うことで、基本的な表現の定着ができるよう工夫されている。各単元の終末に書く活動が位置づけられており、5領域バランスのとれた学習ができるよう配慮されている。 (5) A4判で、写真や図が鮮明であり、児童が視覚的・具体的に学習の見通しを持つことができるよう、配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) クラス内での自己紹介、学校や地域、国内、国外へと学年や単元が進むにつれて視点が広がっていくよう、各 Lesson の題材内容が配列されている。 (2) 児童にとって身近な語彙・表現を中心に言語材料が配列され、獲得した知識及び技能を実際のコミュニケーションの中で繰り返し使用し、定着を促すことができるよう配慮されている。 (3) 児童が自身の興味関心や経験などを発信する具体的な言語活動を通して、友と交流をしながら、基礎的な英語表現に触れていくことができるよう配慮されている。 (4) コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるよう配慮されている。また、単元内の activity にはその活動を行う目的が示されており、順を追って学習していくと単元ゴールを達成できるよう構成されている。 (5) 発表のやり方を示したイラスト、吹き出しなど、言語活動を行う際、視覚的な情報を頼りに学習を進めることで単元のねらいが達成できるように工夫されている。 (6) 巻末にある CAN-DO チェックでは、単元ごとに3観点と対応した振り返りができるように工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使いながら学べるよう、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が充実している。 ・別冊の絵辞典は、カテゴリー別に語句をまとめ、絵を手がかりに、「知りたい」「言いたい」単語をすぐに探し出せるようになっている。また、語句ごとに音声を確認できるよう工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<p>音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身につけられるよう配慮されている。また、カテゴリーゲームやポインティングゲームなど多様なゲーム活動を取り入れることで学習意欲を喚起し、児童が興味関心を持ち、対話的な活動へとつなげられるよう工夫されている。</p>

発行者名	三省堂 (CROWN Jr.)
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Hop、Step、Jump をくくりとした各学年3つのUnitによって、段階的に自らの目標を設定し見通しをもって学習できるように構成されている。 ・日常の児童の活動に関連した題材があり、興味を喚起しながら、教科等横断的な学習を進めることができるよう工夫されている。 ・振り返り表 (CAN-DO チェック) が巻末にあり、3 観点と対応した自己評価ができるようになっていて、児童が主体的に学べる工夫がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 言語材料は、アウトプットの前に十分なインプットができ、平易なものから段階的に配列されるなど、分量に配慮がある。 (2) 聞くことから話すことへ、段階を踏んで十分に練習をしてから移行できるよう工夫されている。書く活動では、5 年次は選んで貼り付け、6 年次は自身で表現するなど学習進度に合わせて難易度が上がるよう工夫されている。 (3) コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動が豊富で、学校生活や地域など、児童の身近にある題材が取り上げられており、児童が自分自身の生活を想起しながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (4) 1 ページ概ね 45 分を目安に構成され、視覚的に気づきを促す工夫がされており、児童が意欲をもち活動に取り組めるよう配慮されている。 (5) A4 判で、挿絵や写真を見るだけで、単語の意味や学習内容を理解する助けとなっている。ユニバーサルデザインに配慮したフォントが使用されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 目次に、単元の目標と授業のゴールが明示されている。「Jump」によって、既習内容を復習しながら表現活動ができる構成となっている。各 Unit に位置づけられた Lesson は、題材や言語材料が関連付けられており、繰り返し練習したり活用したりしながら定着するよう工夫されている。 (2) 聞くことを通して新出表現に触れて確認後、話す活動で口頭練習、続いて読む活動や書く活動につなげることで、スモールステップで無理なく学習が進み、学習した言語材料を活用しながら表現できるような構成である。 (3) 対話で使う英語の表現を、児童が自ら選択し、考えながら学習を進めることで、主体的に活動できるよう配慮されている。 (4) 吹き出しを使って既習表現が例示され、言語の使用場面や言語の働きが明示されており、コミュニケーション活動に取り組みやすいよう配慮されている。 (5) 写真やイラストは英語の意味を推測できるように関連付けられていて、活動の見通しがもちやすくなるよう工夫されている。 (6) 単元の終末に各観点についての「振り返り」を記入する欄があり、児童の記述から評価が行えるよう工夫されている。絵辞典には、2 年間を通して領域ごとに評価できるようまとめられており、児童が自分の成長をさまざまな方法で振り返られるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年が3つのUnitで構成されていて、それぞれに言語活動の目標が設定されている。Lessonの中で小さなゴールを達成しながら、関連した語句や表現を身につけていくような構成である。 ・Unit内は、題材や言語材料が関連付けられており、児童が学習内容を繰り返して思い出し、練習しながら活用できるよう工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<p>日常の児童の活動に関連した題材があり、興味を喚起しながら、教科等横断的な学習を進めることができるよう工夫されている。各 Unit に位置づけられた Lesson は題材、言語材料ともに関連付けられたものとなっており、繰り返し練習したり活用したりしながら定着するよう工夫されている。</p>

発行者名	教育出版 (ONE WORLD Smiles)
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと・話すことを中心に、段階的に読むこと・書くことへ移行することで基礎的な技能を身につけられるように配慮されている。 ・単元末にある 3 観点に対応した振り返り表を活用して、児童が見通しをもち、主体的に学習に臨めるよう工夫がされている。 ・学校生活に合った活動やテーマがあり、他の教科・領域の学習とつながりのある要素を英語学習に生かせるよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教科書にある例文で表現に慣れ親しんでから、自分の伝えたいことを表現する活動に入るよう構成されており、文字や説明を精選し、学習者が負担なく学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 各単元が、基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動を段階的に行うことができるよう配慮されている。また、単元終末の Final Activity は実際の学校生活や友人、地域等と関連付けた書く活動を含む内容になっており、児童が自分の考えを無理なく表現できるよう工夫されている。 (3) 単元全体で扱う題材について、自分の考えを整理したり、友と考えを交流する中で自分の考えを深めたりしていく Think コーナーがあり、単元ゴールを意識しながら見通しをもって学習できるよう工夫されている。 (4) 各単元に、題材や言語材料に関連した絵や写真、地図などが豊富に掲載されており、音声だけでなく視覚からも情報を得て考えることができるよう工夫されている。 (5) 1 ページに概ね一つの活動が設定されている。巻末に、題材やカテゴリ別に使える切り離しカードがついており、ゲーム的な要素も取り入れながら楽しく学習を進められるよう工夫されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) クラス内での自己紹介、学校や地域、国内、国外へと学年や単元が進むにつれて視野が広がっていくよう、各 Lesson の題材内容が並列されている。 (2) 児童にとって身近な語彙・表現を中心に言語材料が並列され、獲得した知識および技能を実際のコミュニケーションの中で繰り返し使用し、定着を促すことができるよう配慮されている。 (3) 児童が、自身の興味・関心や経験などを発信する言語活動を通して、英語表現に触れていくことができるように配慮されている。 (4) 道案内や店舗でのやりとりなど特有の表現が使われる場面が設定され、言語の意味や働きを体験的に理解できるよう配慮されている。 (5) 絵カード、自己表現のためのワークシート、日本や世界の名所や名物を知ることができる地図、活動用シールなど、言語活動を行う際、具体的に見たり体験したりしながら学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 (6) 各単元末にある Review や評価の 3 観点と対応した振り返り表をもとに、学習内容や評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す内容やコミュニケーションについての気づきを促し深めるコーナーが設けられており、互いを尊重し合いながら、よりよい関わり合いを意識した英語学習ができるよう配慮されている。 ・6年生の後半から始まる文構造への気づきを促す活動や、小学校の学習のまとめとして取り組む活動が位置づけられている。
<p>5 総合所見</p>	<p>学校生活に合った活動やテーマがあり、他の教科・領域の学習とつながりのある要素を英語学習に生かせるよう工夫されている。また、教科書にある例文で表現に慣れ親しんでから自分の伝えたいことを表現する活動に入るよう構成されており、文字や説明を精選し、学習者が負担なく学習に取り組めるよう配慮されている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光村図書出版 (Here We Go!)</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり話したりする音声中心の学習から、文字の学習に段階的に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身につけられるよう工夫されている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて主体的に表現できるよう工夫されている活動が多く設定されている。 ・自文化や異文化について扱う単元があり、自国や他国の文化、生活を理解し、尊重する心が育つよう工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 内容が発達段階に即していて、児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。題材や言語材料も、児童が英語を無理なく学習することができるよう工夫されている。 (2) 各 Unit の Step では、「ストーリー」を通して単元で扱う表現に気づくことから始まり、インプット中心の活動からアウトプットする活動へと、スモールステップを踏んで学習を進めることができるよう仕組みられている。 (3) 聞く活動では場面設定が、話す活動ではコミュニケーションの目的が明確に示されており、主体的に対話しようとする意欲を高める工夫がされている。 (4) 聞いたり話したりして慣れ親しんでから、文字、単語、語句、文を読んだり書いたりする活動へと段階を踏んで学ぶことができるように配慮されている。 (5) 写真やイラストが多く使われていて配色が鮮やかであり、活動の内容を推測しやすく言語活動が具体的にイメージできる。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習のテーマが示され、5 学年では自分、他者、地域、6 学年では日本、世界、将来というように視点が広がっていくテーマで構成されている。「まとめ」の部分では、世界各国が取り上げられており、異文化に触れ見方や考え方を広げ互いを尊重する心が育つよう工夫されている。 (2) 各 Unit のゴールが、学習する目的や状況が明確に設定され単元を貫いたものになっており、児童が何のために学習するのか見通しを持てる。Unit 全体にまとまりがあり、児童が単元終末の目標に向かって学習する流れができています。 (3) Let's try の後に Plus one で会話をつなげる工夫や、「言葉について考えよう」では、コミュニケーションに必要な文化や技能について考える場面があり、対話活動において相互理解に必要なことを学習できるよう配慮されている。 (4) 各 Unit で、基礎的な知識及び技能の習得を先にして、それを活用しながら自分の身近なことについて、習熟の度合いに応じて主体的に表現する言語活動が配置されている。 (5) 巻頭に、「〇年生でできるようになること」が領域ごとに明記され、単元終了ごとにチェックし達成度を確認できるよう配慮されている。 (6) 巻末には All about me で、各 Unit で学んだことを使って自分のことについて表現するページがあり、自分の 1 年間の成果を蓄積することができ、書き込んだ内容を次年度に活用できるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面に発話例があるが、活動に必要なすべての台詞をあえて示していないことで、児童が主体的に考えることができるよう工夫されている。 ・各 Unit では、児童の身近な環境や行事を通して英語を学び、年 3 回位置づけられている「まとめ」を通して世界の国々について学んだり、英語を使って発展的な活動を行ったりすることができるよう構成が工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<p>各 Unit のゴールが、学習する目的や状況が明確に設定され単元を貫いたものになっており、児童が何のために学習するのか見通しを持てる。Unit 全体にまとまりがあり、児童が単元終末の目標に向かって学習する流れができています。会話をつなげる工夫や、コミュニケーションに必要な文化や技能について考える場面があり、相互理解に必要なことを学習できるよう配慮されている。</p>

発行者名	啓林館 (Blue Sky elementary)
採択基準	
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身につけられるように配慮されている。 ・どのような工夫をして伝えればよいのかを考える活動が設定されており、児童がコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、工夫して表現できるよう配慮されている。 ・各単元で異文化情報が扱われており、多様な価値観に気づき他者への配慮ができる心が育つよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 年間配当時数が余裕を持って設定されている。必要に応じて、練習活動や調べ学習など、個に応じた活動を取り入れられるように配慮されている。 (2) 扱われている題材が、自分や自分の周囲にあること、学校生活など実際の生活に沿った内容になっており、活動の中で実際に経験していることを聞いたり話したりできるよう配慮されている。 (3) 文字と音の関係が各単元で扱われており、児童が慣れ親しんだ音声を基に読んだり書いたりする学習を進めていくことができるように配慮されている。 (4) Unit ごとに書く活動や音声に関する活動が位置づけられており、年間を通して段階的に学習することができるよう工夫されている。また、音声は速度調節機能がついており、児童が自分のペースで学習できるよう配慮されている。 (5) A4判で、見開き2ページ分を使って単元全体の流れが分かる構成になっており、すべての児童が迷わずに活動することができるよう工夫されている。各単元に、言語材料や題材に沿った words and phrases が設定されており、学習内容と関連付けて覚えたり学んだりできるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 言葉を使う場面を把握し、聞いたり使ったりして慣れ親しみ、話す活動を行う、その後読む、書く活動に移る単元構成であり、5領域の力をバランスよく育成するよう工夫されている。 (2) 自分のこと、過去のことなど似た表現を使う単元がまとめられており、言語材料の配列や関連付けが意識されている。 (3) ペアで話す活動が各単元で扱われており、自分が伝えたい内容や言葉を選び言語活動ができるように配慮されている。 (4) 自分について伝え合う言語活動が多く取り入れられ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて伝え合う力を養えるよう配慮されている。 (5) まとめの活動では、活動中の写真や発表の資料などが掲載され、活動のイメージがもちやすくなっており、単元のねらいとの関連が密接である。 (6) 巻末の Can-Do List は、単元ごとに、目的や状況に合わせて具体的に設定されており、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力等を育成するために、どのような工夫をして伝えたらよいのかを考える活動が設定されている。 ・ゲーム要素のある活動ではなく、自分について話す活動が設定されており、児童がコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて表現できるよう工夫されている。
<p>5 総合所見</p>	<p>音声中心の学習から段階的に文字の学習に取り組むことで、外国語についての基礎的な技能を身につけられるように配慮されている。また、自分について伝え合う言語活動が多く取り入れられ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて伝え合う力を養えるよう工夫されている。</p>

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい道徳）
1 教科の目標からの配慮	物事を多面的・多角的に考えることができるように、各学年に、自分の考えを可視化したり、友だちと考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付けるような思考ツールを紹介したり、登場人物の心の中を説明する文言を削減したりするなど、児童が多様な感じ方や考え方に会えるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 絵や写真を使い道徳科の授業を楽しむ低学年、身近な教材文で価値の理解を深める中学年、多様な資料から自分の生き方について考える高学年と、6年間を見通して道徳性を養うことができるよう、教材の内容や形式が選択されている。 (2) 冒頭を内容項目の視点と教材名に絞ることで、学級の実態に応じて柔軟な展開ができ、道徳的価値に迫る工夫がされている。 (3) 全ての学年に、問題解決的な学習と、役割演技や動作化などを取り入れた教材が掲載されており、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れられるように工夫されている。 (4) 本文の書体はユニバーサルデザインフォントにし、読みやすさに配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教材を発達段階に合わせて配列したり、自分との関わりで考えられる教材を配置したり、道徳的価値の自覚を深める指導ができるように配慮されている。 (2) 各学年巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、学び方を例示し、対話的な学びを実現できるよう工夫されている。 (3) 「いじめ」「情報モラル」「SDGs」など現代的な課題の教材を配置し、特にいじめの問題については、「直接的教材」と「間接的教材」を組み合わせることで指導できるように配慮されている。 (4) 全教材について二次元コードから、朗読やスライドショーや動画を利用することで、事前読みをしたい児童や、個別に配慮を要する児童が主体的に教材と関われるよう、提示方法が選択できたり、関連資料を動画で確認したりできるように工夫されている。 (5) ICT端末を利用した「デジタルノート」だけでなく、教科書に直接書き込める教材もあり、児童が自らを振り返って成長を実感したことを把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	児童の生活実態に即した指導内容と指導時期が考慮され、特に現代的な課題については5つのユニットに分け、全学年同時期に配列され、教科等横断的な学びが実現できるよう工夫されている。
5 総合所見	朗読やスライドショー動画を利用できるようにするなど、児童が主体的に教材と関わり教材内容を理解することができる工夫や、教材を全学年同時期に配列することで、教科横断的な学びが実現できるように配慮されている。

発行者名 採択基準	教育出版（はばたこう明日へ）
1 教科の目標からの配慮	動作化や役割演技などの体験的な学習、実生活につなげて考える発展的な学習、児童が自ら問題を見つけ主体的に考えられる問題解決学習を位置づけ、自分の生き方について多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	(1) 体験的な学習の教材を学年に応じてスキルアップしたり、人物教材を高学年で増やしたりするなど、発達段階に応じた配慮がされている。 (2) 導入部に主題やキャラクターによる吹き出しがあり、何について学ぶのかわかりやすく、道徳的価値や教材内容への導入を図ろうとしている。 (3) 「学習のてびき」では、内容理解や価値理解につながる発問、自分事として考えたり考えたことをまとめたりする発問を提示し、児童の思考の深化を促すよう工夫されている。「問題を解決しよう」では自ら問題を見つけ主体的に考えられるような発問で、思考を促す配慮がされている。 (4) 本文フォントをユニバーサルデザインフォントにし、低学年では、分かん書きや文節改行を行い、読みやすくするなど、発達段階に応じた配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	(1) 低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物教材を盛り込み、他教科や特別活動との連携を示すなど、児童の発達段階や教育活動全体を意識した多様な教材配列が工夫されている。また、5本の補充教材に替えて、地域や児童の実態に応じた指導計画を作成できるよう配慮されている。 (2) 動作化や役割演技をして体験活動を促したり、授業で学んだことを実生活につなげて考えたりすることで、他者と関わり合いながら、発展的な学習にも取り組めるよう配慮されている。 (3) いじめ問題、情報モラルなどの現代的な課題が、全学年共通、学年ごとに重点テーマとして設定され、また、複数の教材とコラムでユニット化して構成され、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 (4) 見開き全面のイラストや登場人物の感情を視覚的に捉えやすいマンガ形式の絵など、自由な考えや内容理解を促す配慮がされている。 (5) 各教材末の「まなびチェック欄」、巻末の「学習をふり返ろう」を利用し、児童の学びや成長を把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	「学習のてびき」が設定され、児童が考え、議論しながら、自分の生き方についての考えを深められる発問で構成されている。
5 総合所見	多種多様な教材や「学習の手引き」が設定されていること、複数の教材とコラムを合わせてユニット化することなどで、多面的・多角的に考える活動を促し、自分の生き方について主体的に考える深い学びが展開できるよう配慮されている。

発行者名 採択基準	光村図書（きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	話し合いで大事な対話の力を育む学習活動を示したり、「教材」「自分」「友達」との3つの対話を意識した学び方を設けたりするなど、多面的な見方や考え方を深め、主体的に道徳の学びに取り組めるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<p>(1) 現代的な課題では、児童の発達段階に合わせ、学年に合った問題となるよう内容項目を配置し、6年間を通した学びができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 冒頭でキャラクターによる児童への呼びかけで、児童の日常と教材がつながるよう配慮され、主体的・対話的な追求を誘う工夫がされている。</p> <p>(3) 「考えよう・話し合おう」では、何について考えるのか学びのテーマを示し、構造化した問いで、児童の考えが深まっていくよう工夫されている。「つなげよう」では、児童が考えたことを日常生活やこれまでの学び、他教科・領域と関連付け、計画的・発展的な指導ができるよう配慮されている。</p> <p>(4) 本文に光村教科書体を使用したり、B5 変型判を用いたりして、小学生が手に持って扱いやすいよう工夫されている。色覚特性のある児童でもグラフなどを判別しやすいよう配慮されている。</p>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<p>(1) 読み物教材だけでなく、多様な教材も配置され、学期ごとにテーマを設けて、児童の一年間の成長に寄り添えるように、教材配列が工夫されている。</p> <p>(2) 第2教材で、「教材」「自分」「友達」との3つの対話を意識する学び方を押さえるなど、児童がより主体的に学びができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 複数の教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を位置づけ、いじめなどの現代的な課題が重点的に取り上げられ、対話を通して多面的・多角的に考える場を設定できるように配慮がされている。</p> <p>(4) 挿絵に登場人物名を添えたり、QRコードコンテンツを充実させたりすることで児童が内容を理解し、楽しく安心して学べるよう配慮されている。</p> <p>(5) 巻末の「学びの記録」では、低・中学年ではシール形式、高学年は記述式と発達段階に応じた振り返りを促すことができる工夫がされている。</p>
4 全体的な特色	キャラクターや登場人物の呼びかけで、問題解決学習や体験的な学習を促したり、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えたりするなど、主体的に道徳の学びに取り組めるよう配慮されている。
5 総合所見	多様な教材により児童が様々な道徳的価値に触れられるよう配慮されている。児童の成長に寄り添うように年間を3つのまとまりに分けて配置し、様々な感情を引き出しながら、発達段階に合わせて対話する力を育むことができるよう工夫されている。教材、自分、友達との関わりの中で問いを自分事として多面的・多角的に考えたり、深めたりできるよう配慮されている。

発行者名 採択基準	日本文教出版（生きる力）（道徳ノート）
1 教科の目標からの配慮	<p>人との関わりを大切にした教材や発達段階に応じた道徳ノート等で自己を見つめられるようにしたり、話合いや役割演技など、体験的に学ぶ多様な学習方法を全学年で示したりすることで、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性</p> <p>〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕</p>	<p>(1) 発達段階に応じて絵や文字の量のバランスが工夫されており、児童が取り組みやすいように配慮されている。</p> <p>(2) 教材の冒頭に内容項目に関するキーワードが示されている。発問は教材のねらいにせまる発問と自分自身を振り返る発問の2点が端的に示され、自己を見つめて学習できるよう工夫されている。</p> <p>(3) 話合いや役割演技等、体験的に学ぶ学習やコラム、ワークシート、児童が二次元コードから選択して活用できる思考ツールなどを盛り込み、多面的・多角的に考える工夫がされている。</p> <p>(4) 教材名の横にあらすじや登場人物を示し、場面把握が容易になるよう配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い</p> <p>〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕</p>	<p>(1) 発達段階に応じて児童が自分事としてとらえやすいよう、現代的・社会的な課題への対応を考える教材や学校生活と結び付けて考える教材が多く配置されている。</p> <p>(2) 年間 35 時間分の教材の他に「ふろく」として 3 教材が収められており、学校の実態に応じて教材を選択したり、自主学習に役立てたりできるよう配慮されている。</p> <p>(3) 全学年で年 3 回「人との関わり」について継続的に指導できるよう教材を配列し、その中でいじめ問題にかかわる教材を掲載し、計画的に人権尊重の精神を育めるよう配慮されている。</p> <p>(4) 写真や絵図が豊富かつ色彩が鮮やかで、見開き一面で扱ったり、印象的な場面や部分をアップにしたりして、指導過程で内容の理解を補えるような配慮がされている。</p> <p>(5) 別冊の「道徳ノート」に記入したり、ICT 端末からワークシートに入力したりすることを通して、学習の記録を蓄積し、児童が自己を見つめ、学習の積み重ねを実感できるようにするとともに、教師が児童の学習の様子を把握できるようにしている。</p>
4 全体的な特色	<p>教材のねらいにせまる発問と自分自身を振り返る発問の 2 点を端的に示し、児童と教師が追求への見通しをもち、主体的に学べるよう配慮されている。</p>
5 総合所見	<p>「ふろく」を含めた多様な教材には自分の経験とつながる場面を取り上げたり、精選された発問には自分自身を振り返る発問を示したりするなど、児童が自分事として考えられるように工夫されている。また、別冊の「道徳ノート」を活用したり、二次元コードから児童が主体的に思考ツールを選択するなどして、主体的に考えたり、多面的・多角的に考えたりできるよう工夫されている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>光文書院（ゆたかなこころ）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>冒頭に問いを提示し、児童が自己を見つめ、問題意識を明確にした上で学習できるように配慮されており、終末の発問では、学びを振り返り、自己の生き方についての考えを深められる工夫がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<p>(1) 全学年で「みんなでやってみよう」のページを設け、体験的な学習を通して考えることができ、多様な教材が発達段階に合わせて適切に配置されている。</p> <p>(2) 追求への必要感が持てる冒頭の発問や、教材欄外の発問が適切に配置され、児童が追求したくなるように配慮されている。</p> <p>(3) 教材終末の「まとめ」「広げる」は、追求への促しがあり、児童が主体的に、相互に関わり合って学習できるように工夫されている。</p> <p>(4) スペースが大きく見やすい紙面、かつ子どもが扱いやすい教科書サイズであること、白地を基本とした紙面、配色や色に関わるデザインに配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<p>(1) 学年ごと設定された「重点主題」を、発達段階に応じて6年間系統立てて指導できるよう多様な教材が配列されている。</p> <p>(2) 各学年とも 40 本の教材が掲載されており、指導計画に応じて選択ができるなど、多様な指導に対応できるよう配慮されている。</p> <p>(3) いじめなどの現代的課題について、全学年で連続して指導できるように教材が配置され、発問は多様な価値観を引き出せるよう配慮されている。</p> <p>(4) さし絵や写真が適切に配置され、内容理解や登場人物の心情理解がしやすいように配慮されている。</p> <p>(5) 巻末の「学びの足あと」では、授業後の心の動きや学びを継続し、子ども自らが成長を実感することで、新たな課題や目標を見つけながら取り組めるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>冒頭で問いがもてる発問、教材に沿った発問、終末で振り返りの発問を示し、全学年共通の学習の流れで構成されている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>問いをもてる発問を冒頭に、立ち止まって考える発問を中盤に、終末には振り返りの発問が共通して明示されている。児童が道徳的価値について仲間と共に考え、追求したことについて主体的に日常生活に生かそうとするような工夫がされている。</p>

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>Gakken（新・みんなの道徳）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<p>教材に主題を明示せず、児童が主体的かつ多面的・多角的に考えられるような工夫や、様々な人の生き方に触れることで、自己を見つめ生き方についての考えを深められるような配慮がされている。</p>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕</p>	<p>(1) 役割演技、身近な出来事に置き換える工夫等が盛り込まれ、発達段階に応じた学習への配慮がされている。</p> <p>(2) 導入に「キーフレーズ」を配置し、児童の関心をかきたてるようなスムーズな導入を実現できるよう工夫されている。</p> <p>(3) 適切な数と内容の厳選された発問が全教材に配置され、自由度をもって考えを広げられる工夫がされている。</p> <p>(4) 見開きで始まるページ構成、ユニバーサルフォントやカラーの使用がなされ、教材の内容把握がしやすいように配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕</p>	<p>(1) 教材の後にコラムを設け、道徳的価値について多面的・多角的に考え、より深く学べる場を設定できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 地域教材や現代的な課題を効果的に配置し、児童の実態に合わせた柔軟な指導計画作成への配慮がされている。</p> <p>(3) 全学年でいのちを最重点テーマとし、複数の教材で学習できるように教材を配置し、複数教材を組み合わせた「ユニット教材」を設け、多面的・多角的に考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>(4) 見開きで原寸大の写真を掲載することで、イメージを持ちやすく、自分との関わりで考えることができるよう工夫されている。</p> <p>(5) メモ欄、巻頭・巻末の「自分の記録」や「学びの記録」を記入する欄を設け、児童の成長を把握でき、保護者や友達と思考の足跡を共有できる工夫がされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>教材冒頭に主題名を明示せず、児童の問題意識を尊重し、児童の主体的な学びから、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</p>
<p>5 総合所見</p>	<p>教材に主題が明示されないこと、自己を見つめ考えを広げる厳選された発問により、多様な価値観を引き出し、児童が主体的かつ多面的・多角的に考えられるような配慮がされている。</p>